

橋本市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
橋本市

第1章 計画策定について		
1. 背景		4
2. 計画期間		4
3. 基本方針		5
4. データヘルス計画の位置づけ		5
5. 実施体制・関係者連携		5
第2章 現状と課題把握		
1. 市の概況		7
(1) 市の状況		7
(2) 死因の状況		8
2. 保険者の特性把握		9
(1) 被保険者の状況		9
(2) 医療費等の状況		10
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		11
① 特定健康診査		11
② 特定保健指導		12
(4) 介護保険の状況		13
3. 医療情報分析結果		16
(1) 基礎統計		16
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		17
① 高額レセプトの件数及び割合		17
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		18
(3) 疾病別医療費		20
① 大分類による疾病別医療費統計		20
② 中分類による疾病別医療費統計		24
4. 保健事業実施に係る分析結果		34
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		34
(2) 特定健康診査に係る分析		35
(3) 特定保健指導に係る分析		37
(4) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		39
(5) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		43
5. 過去の取り組みの考察（第1期データヘルス計画の振り返り）		45
6. 分析結果に基づく健康課題の把握		47
第3章 保健事業実施計画		
1. 各事業の目的と概要一覧		49
2. 各事業の実施内容と評価方法		51
(1) 特定健康診査受診勧奨事業		51
(2) 特定保健指導事業		52
(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業		53
(4) ウォーキングデイ事業		54
(5) 脳ドック助成事業		55

	(6) ジェネリック医薬品差額通知事業	56
第4章	その他	
	1. データヘルス計画の見直し	57
	(1) 評価	57
	(2) 評価時期	57
	2. 計画の公表・周知	57
	3. 個人情報の取り扱い	57
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	57
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組みべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととあります。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、2018年度(平成30年度)から2023年度の6年間とします。

■ 計画期間

2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					

3. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うこととします。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を設定します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標をたてます。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「和歌山県健康増進計画」及び「橋本市健康増進計画(健康はしもと21)」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図ります。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進します。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ

平成26年度～平成28年度(3年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)

平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)

平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ

単年分析

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)

平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)

平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

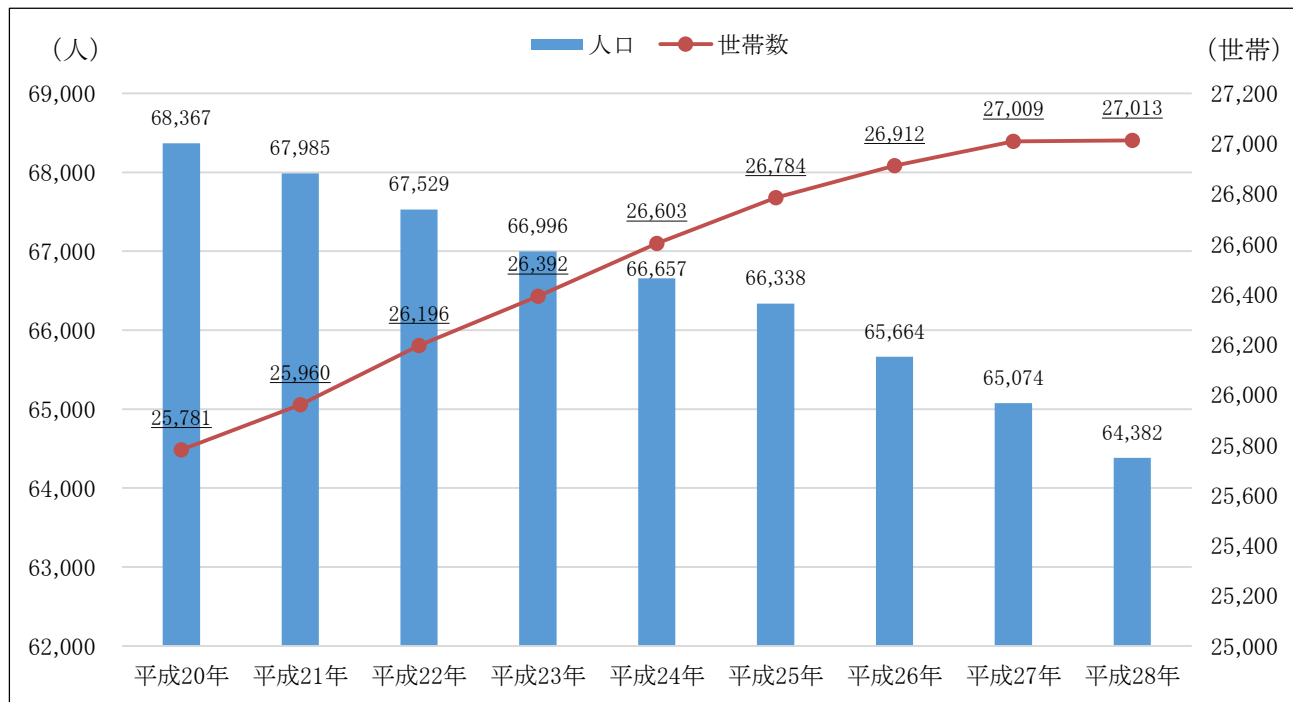
第2章 現状と課題把握

1. 市の概況

(1) 市の状況

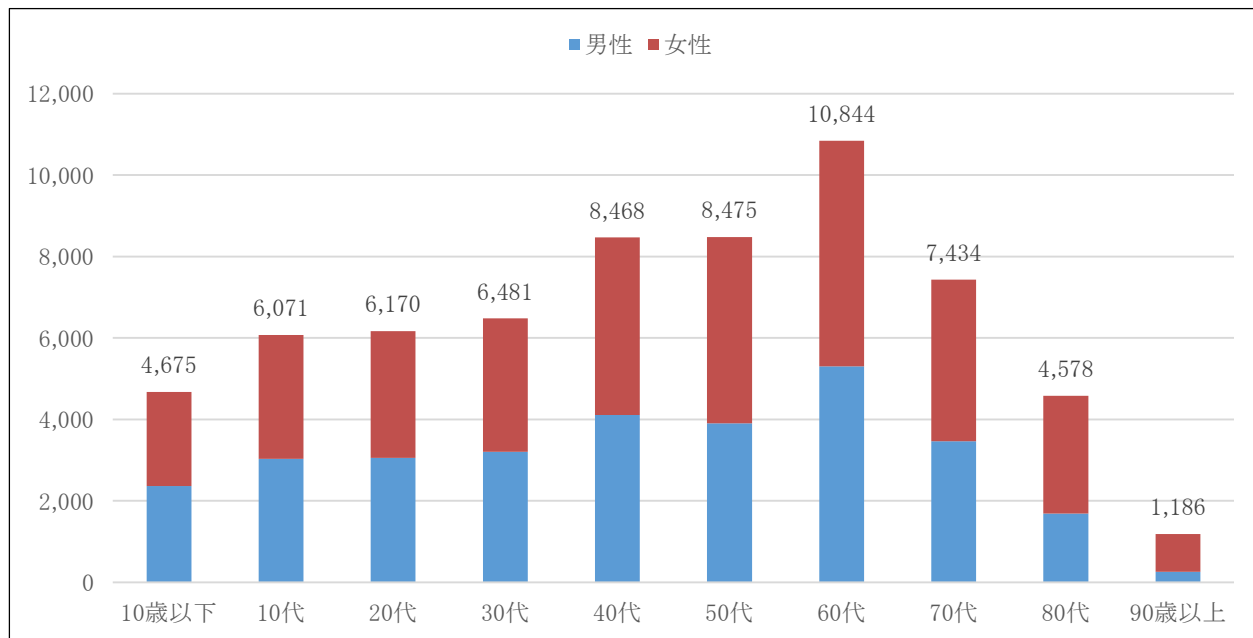
平成28年度の人口は64,382人となっており、平成20年から減少を続けていますが、世帯数は年々増えています。人口構成では60代の割合が最も多くなっています。

人口および世帯数の推移



出典: 住民基本台帳 人口・世帯数

人口構成 (平成28年度)



出典: 住民基本台帳年齢階級別人口

(2) 死因の状況

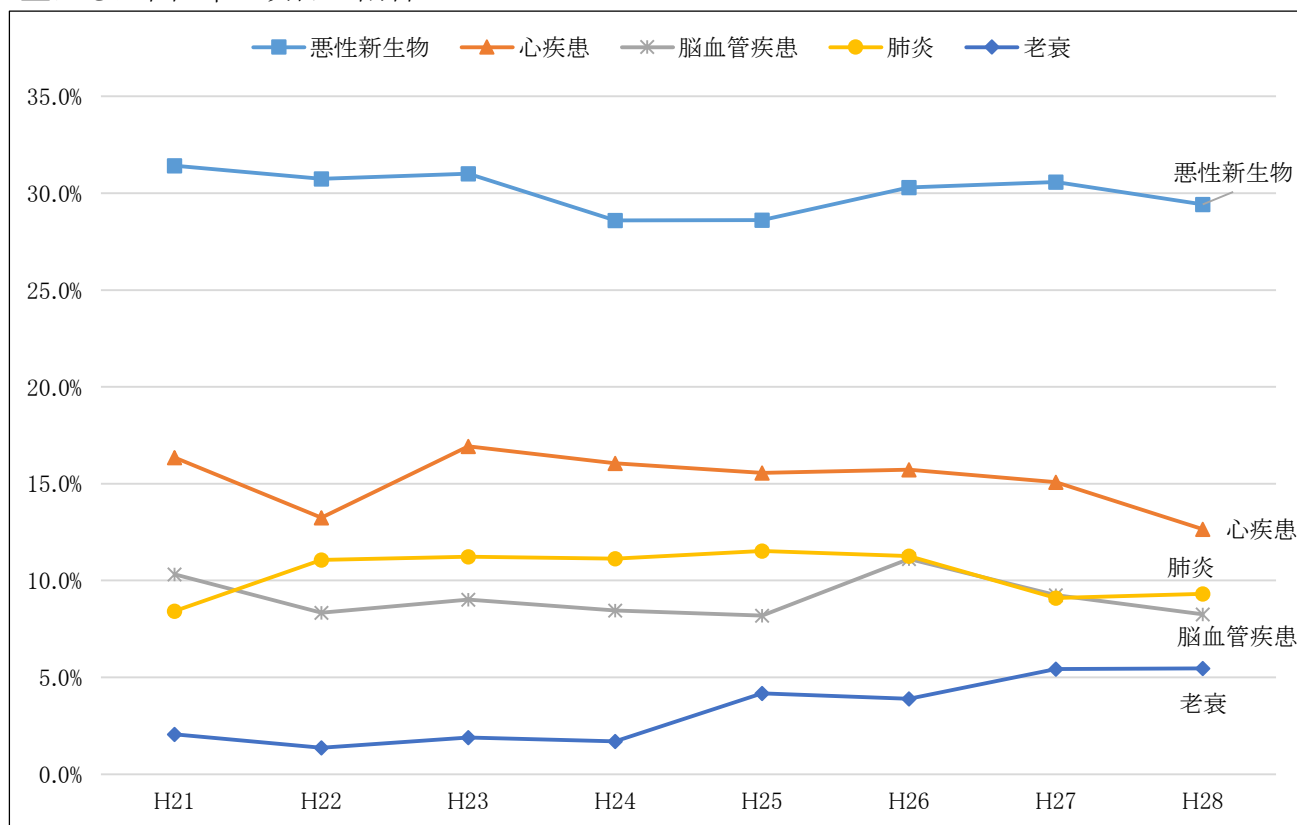
平成28年の死因は、悪性新生物が29.4%で1位になっています。平成21年以降悪性新生物が死因1位の状況が続いています。

主たる死因の死亡数と割合

	H21年		H22年		H23年		H24年		H25年		H26年		H27年		H28年	
	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)	死亡数(人)	割合(%)
結核	-	0.0%	3	0.4%	-	0.0%	2	0.3%	2	0.3%	1	0.1%	1	0.1%	3	0.4%
悪性新生物	198	31.4%	225	30.7%	196	31.0%	203	28.6%	206	28.6%	210	30.3%	225	30.6%	221	29.4%
糖尿病	14	2.2%	3	0.4%	6	0.9%	10	1.4%	8	1.1%	7	1.0%	14	1.9%	5	0.7%
高血圧性疾患	1	0.2%	4	0.5%	3	0.5%	2	0.3%	5	0.7%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%
心疾患	103	16.3%	97	13.3%	107	16.9%	114	16.1%	112	15.6%	109	15.7%	111	15.1%	95	12.6%
脳血管疾患	65	10.3%	61	8.3%	57	9.0%	60	8.5%	59	8.2%	77	11.1%	68	9.2%	62	8.3%
大動脈瘤及び解離	10	1.6%	8	1.1%	6	0.9%	11	1.5%	9	1.3%	9	1.3%	12	1.6%	13	1.7%
肺炎	53	8.4%	81	11.1%	71	11.2%	79	11.1%	83	11.5%	78	11.3%	67	9.1%	70	9.3%
慢性閉塞性肺疾患	6	1.0%	14	1.9%	18	2.8%	19	2.7%	8	1.1%	9	1.3%	6	0.8%	9	1.2%
喘息	2	0.3%	1	0.1%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	2	0.3%	-	0.0%	-	0.0%
肝疾患	13	2.1%	11	1.5%	10	1.6%	8	1.1%	8	1.1%	6	0.9%	12	1.6%	7	0.9%
腎不全	5	0.8%	11	1.5%	15	2.4%	15	2.1%	13	1.8%	17	2.5%	6	0.8%	13	1.7%
老衰	13	2.1%	10	1.4%	12	1.9%	12	1.7%	30	4.2%	27	3.9%	40	5.4%	41	5.5%
不慮の事故	12	1.9%	24	3.3%	17	2.7%	28	3.9%	30	4.2%	21	3.0%	23	3.1%	23	3.1%
自殺	12	1.9%	16	2.2%	10	1.6%	11	1.5%	15	2.1%	7	1.0%	10	1.4%	9	1.2%
その他の死因	123	19.5%	163	22.3%	104	16.5%	136	19.2%	132	18.3%	112	16.2%	140	19.0%	179	23.8%
全死因	630	100%	732	100%	632	100%	710	100%	720	100%	693	100%	736	100%	751	100%

出典：和歌山県HP 和歌山県人口動態統計の概況

主たる死因上位5項目の割合



出典：和歌山県HP 和歌山県人口動態統計の概況

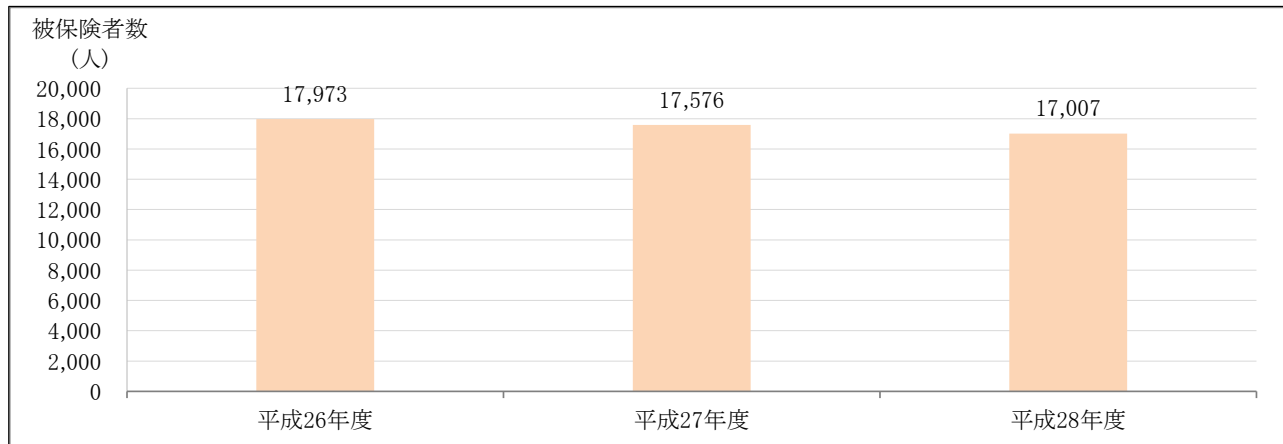
2. 保険者の特性把握

(1) 被保険者の状況

平成28年度の被保険者数17,007人は平成26年度と比較すると966人減少しています。

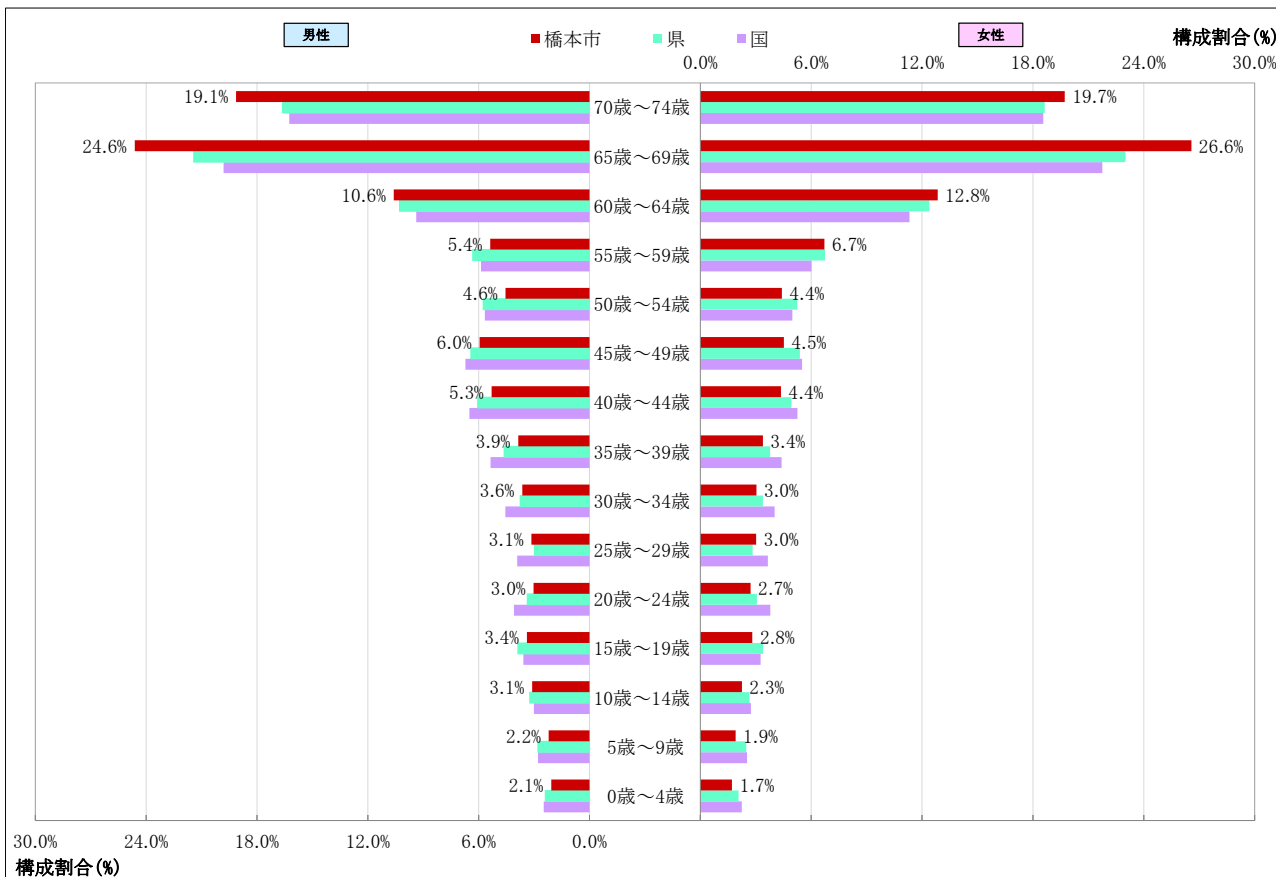
年齢階層別では、60歳以上の被保険者の割合が高く特に65歳以上の割合では国、県と比較して高くなっています。

年度別 被保険者数



出典: 橋本市月報

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム 「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

千人当たりの病床数40.4、入院の一件当たり在院日数14.3は県、同規模、国と比較して低くなっています。

外来費用の割合、外来受診率は県、同規模、国と比較して高くなっています。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	橋本市国保	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.3	0.3	0.3
診療所数	4.0	3.8	2.8	3.0
病床数	40.4	48.7	50.3	46.8
医師数	8.1	9.9	7.5	9.2
外来患者数	746.0	730.5	688.2	668.1
入院患者数	18.6	18.7	19.8	18.2
受診率	764.6	749.2	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)	34,690	33,730	36,130	35,330
一般(円)	34,730	33,700	36,080	35,270
退職(円)	33,700	34,820	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	62.6%	60.3%	59.3%	60.1%
外来受診率	746.0	730.5	688.2	668.1
一件当たり医療費(円)	22,240	20,850	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	16,590	15,230	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	13,990	13,330	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.6	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	37.4%	39.7%	40.7%	39.9%
入院率	18.6	18.7	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	534,210	537,540	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	9,930	10,040	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	37,230	32,860	32,470	34,030
一件当たり在院日数	14.3	16.4	16.2	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

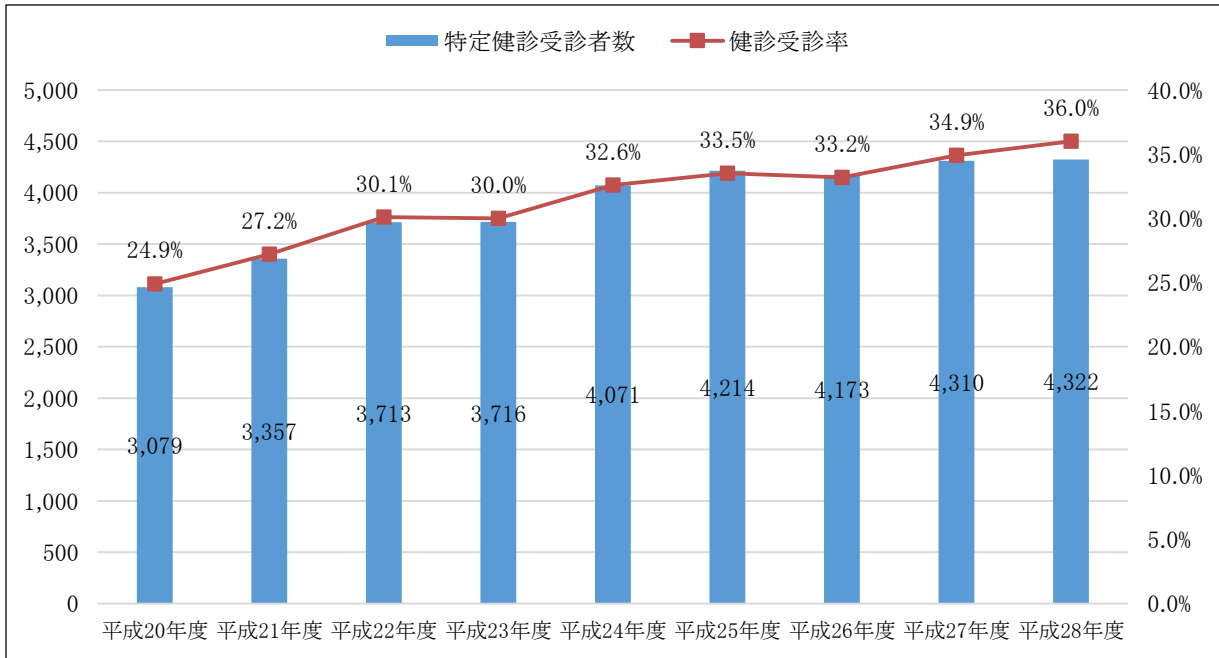
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

平成28年度の特定健康診査受診率（平成29年10月法定報告速報値）は36.0%となっています。受診者の増加とともに受診率も上昇しています。

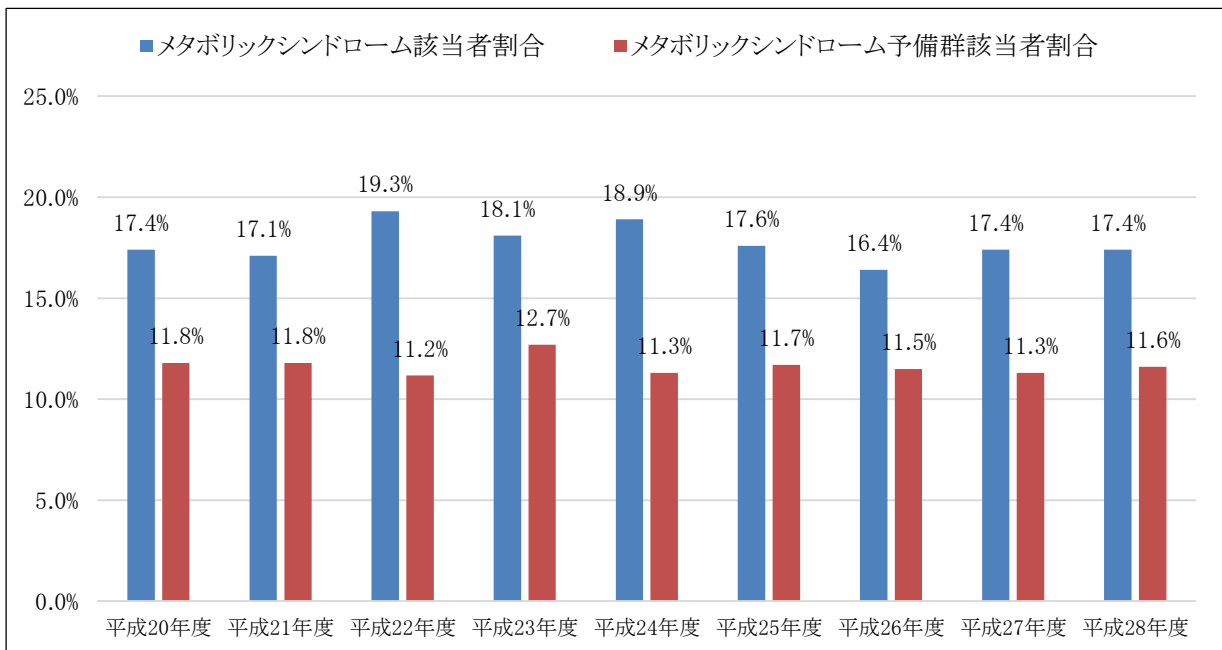
メタボリックシンドローム該当者および予備群の割合は、年度によるばらつきが若干あるもののほぼ同じ割合となっています。

特定健康診査受診率



出典：法定報告

メタボリックシンドローム該当者割合



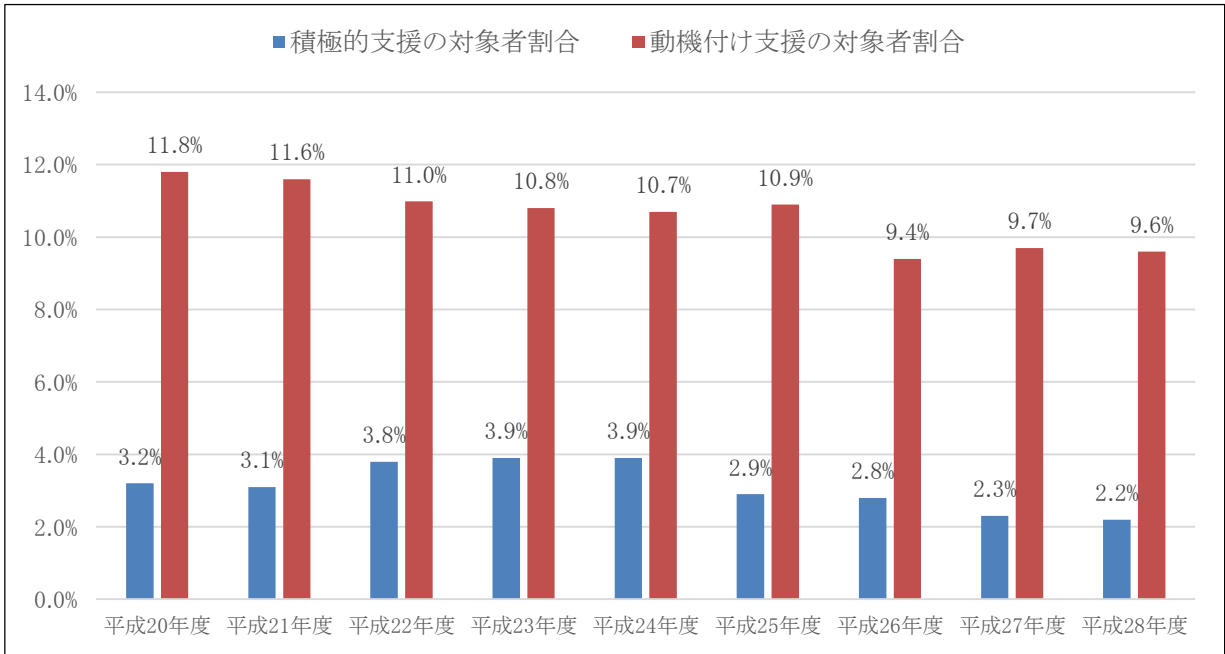
出典：法定報告

②特定保健指導

平成28年度の積極的支援対象者割合は2.2%、動機付け支援対象者割合は9.6%となっています。どちらも平成20年度から年度によるばらつきはあるものの徐々に下がってきています。

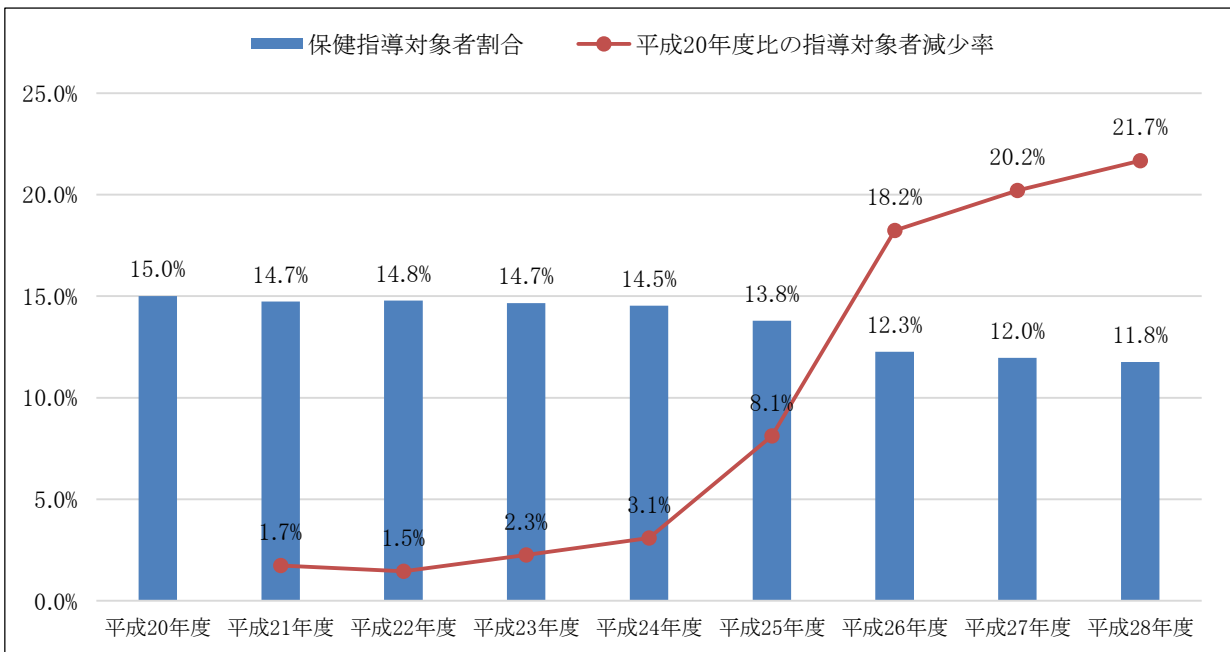
平成28年度の保健指導対象者割合は11.8%となり、平成20年度の15.0%と比較して21.7%減少しています。

積極的支援、動機付け支援の対象者割合



出典:法定報告

保健指導対象者割合と指導対象者減少率



出典:法定報告

(4) 介護保険の状況

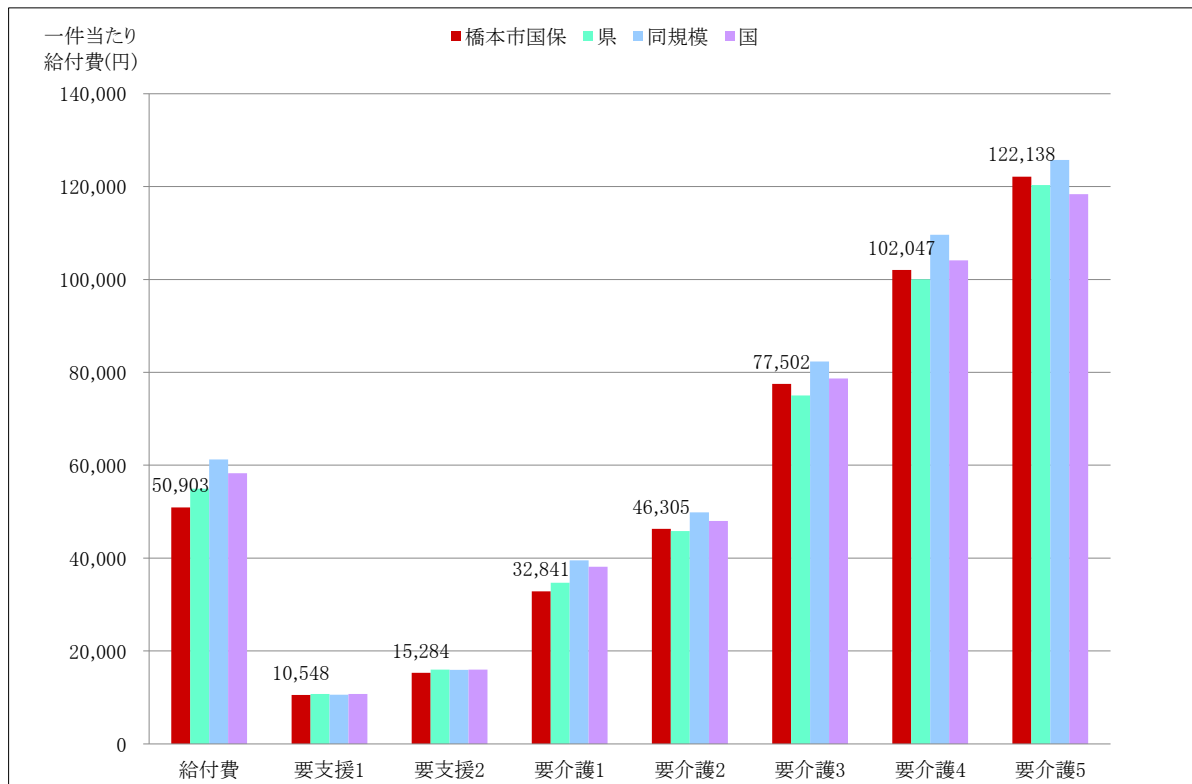
認定率27.4%は、県25.3%、同規模20.2%、国21.1%と比較して高くなっています。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	橋本市国保	県	同規模	国
認定率	27.4%	25.3%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	4,361	69,962	913,855	6,037,083
第1号(65歳以上)	4,278	68,550	891,869	5,885,270
第2号(40～64歳)	83	1,412	21,986	151,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	50,903	54,910	61,245	58,284
要支援1	10,548	10,718	10,581	10,735
要支援2	15,284	16,013	15,951	15,996
要介護1	32,841	34,716	39,503	38,163
要介護2	46,305	45,821	49,853	48,013
要介護3	77,502	75,032	82,314	78,693
要介護4	102,047	100,015	109,614	104,104
要介護5	122,138	120,308	125,728	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

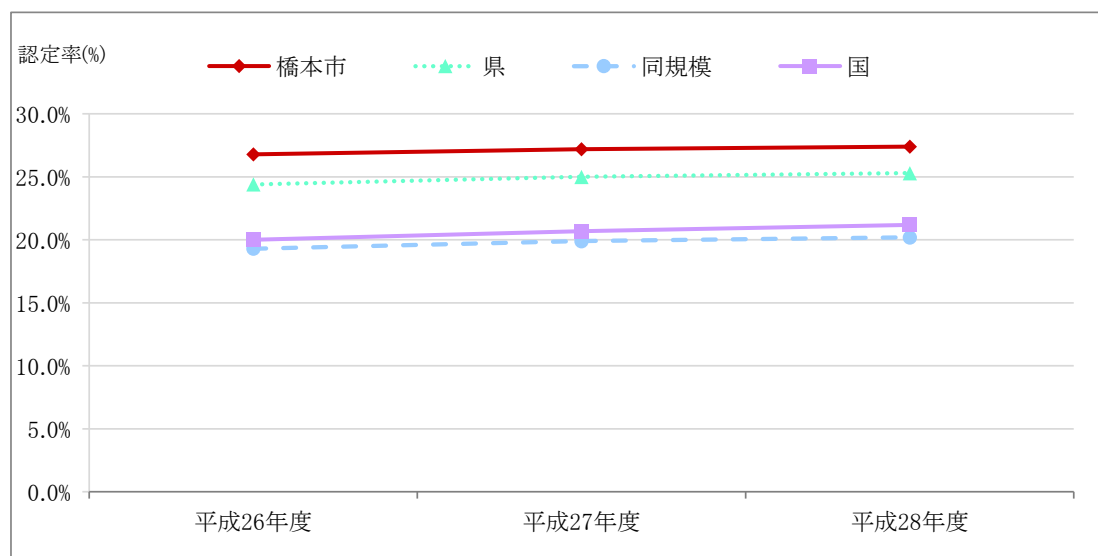
平成28年度認定率27.4%は平成26年度26.8%より0.6ポイント上昇しており、ゆるやかに上昇しています。しかし、実際の認定者数で見ると平成28年度の認定者数4,361人は平成26年度4,423人より62人減少しています。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
橋本市	平成26年度	26.8%	4,423	4,320	103
	平成27年度	27.2%	4,477	4,383	94
	平成28年度	27.4%	4,361	4,278	83
県	平成26年度	24.4%	67,942	66,469	1,473
	平成27年度	25.0%	69,311	67,878	1,433
	平成28年度	25.3%	69,962	68,550	1,412
同規模	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,356
	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度	20.2%	913,855	891,869	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

疾病別の有病者数を合計すると13,097人となり、認定者は平均3.0疾病を有していることがわかります。

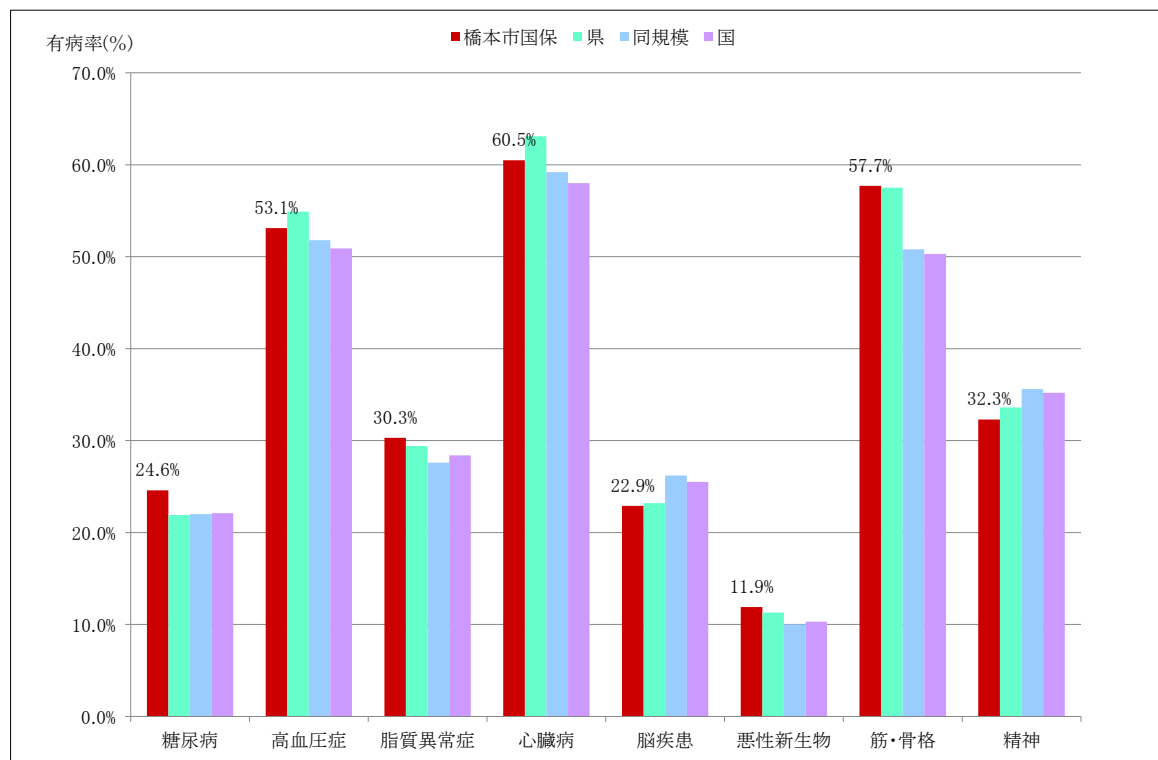
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分		橋本市国保	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		4,361		69,962		913,855		6,037,083	
糖尿病	実人数(人)	1,104	6	15,545	7	203,882	7	1,350,152	7
	有病率	24.6%		21.9%		22.0%		22.1%	
高血圧症	実人数(人)	2,378	3	38,928	3	479,210	2	3,101,200	2
	有病率	53.1%		54.9%		51.8%		50.9%	
脂質異常症	実人数(人)	1,336	5	20,848	5	256,268	5	1,741,866	5
	有病率	30.3%		29.4%		27.6%		28.4%	
心臓病	実人数(人)	2,709	1	44,667	1	546,239	1	3,529,682	1
	有病率	60.5%		63.1%		59.2%		58.0%	
脳疾患	実人数(人)	1,027	7	16,381	6	239,587	6	1,538,683	6
	有病率	22.9%		23.2%		26.2%		25.5%	
悪性新生物	実人数(人)	520	8	8,086	8	93,015	8	631,950	8
	有病率	11.9%		11.3%		10.0%		10.3%	
筋・骨格	実人数(人)	2,573	2	40,673	2	469,492	3	3,067,196	3
	有病率	57.7%		57.5%		50.8%		50.3%	
精神	実人数(人)	1,450	4	23,843	4	331,335	4	2,154,214	4
	有病率	32.3%		33.6%		35.6%		35.2%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

平成28年度の医療費総額は54億5,561万円となり、平成26年度53億4,465万円より1億1,096万円増加しています。また、平成28年度の一カ月平均の患者数は8,846人となり、平成26年度9,062人より216人減少しています。

平成28年度の被保険者一人当たりの医療費320,786円、有病率52.0%について、平成26年度と比較して高くなっています。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	3年平均	3年合計	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	17,973	17,576	17,007	17,519		
B	レセプト件数(件)	入院外	154,556	156,567	152,580	154,568	463,703
		入院	4,002	4,067	3,804	3,958	11,873
		調剤	74,776	79,239	76,064	76,693	230,079
		合計	233,334	239,873	232,448	235,218	705,655
C	医療費(円) ※	5,344,646,960	5,750,884,620	5,455,605,610	5,517,045,730	16,551,137,190	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	9,062	9,079	8,846	8,996		
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	297,371	327,201	320,786	314,924		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,906	23,975	23,470	23,455		
D/A	有病率(%)	50.4%	51.7%	52.0%	51.3%		

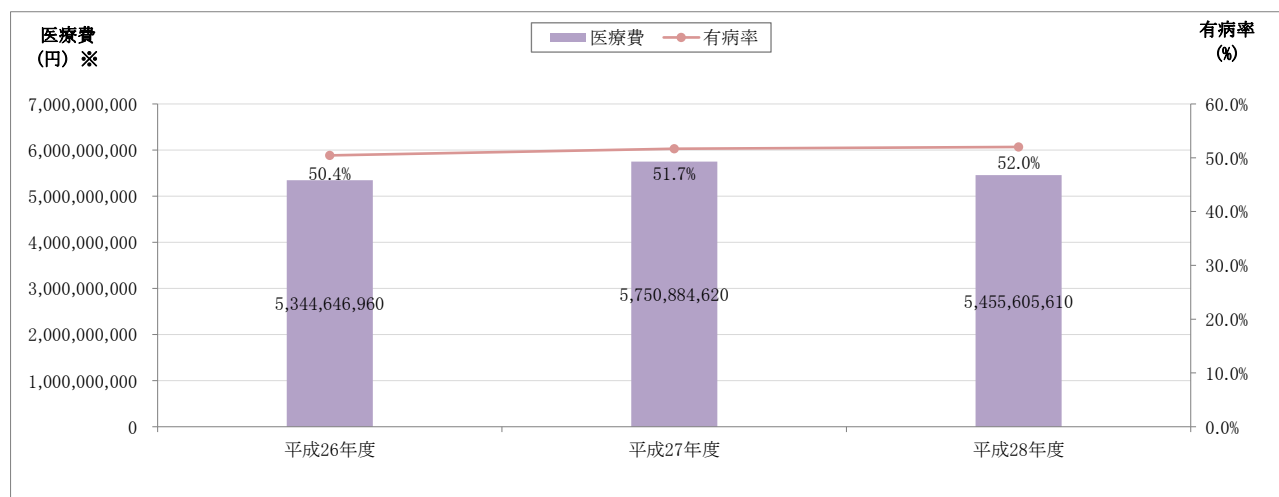
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しません。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年度の高額レセプト件数は1,693件あり、医療費は17億77万円でした。これは平成28年度総医療費の31.2%となります。

総医療費に占める高額レセプトの割合は平成27年度に32.4%まで上がりましたが、平成28年度では31.2%まで下がりました。しかしながら、平成26年度の28.8%と比較すると高くなっています。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	233,334	239,873	232,448
B	高額レセプト件数(件)	1,689	1,888	1,693
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.8%	0.7%
C	医療費(円) ※	5,344,646,960	5,750,884,620	5,455,605,610
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,541,845,680	1,862,014,370	1,700,765,460
E	その他レセプトの医療費(円) ※	3,802,801,280	3,888,870,250	3,754,840,150
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.8%	32.4%	31.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

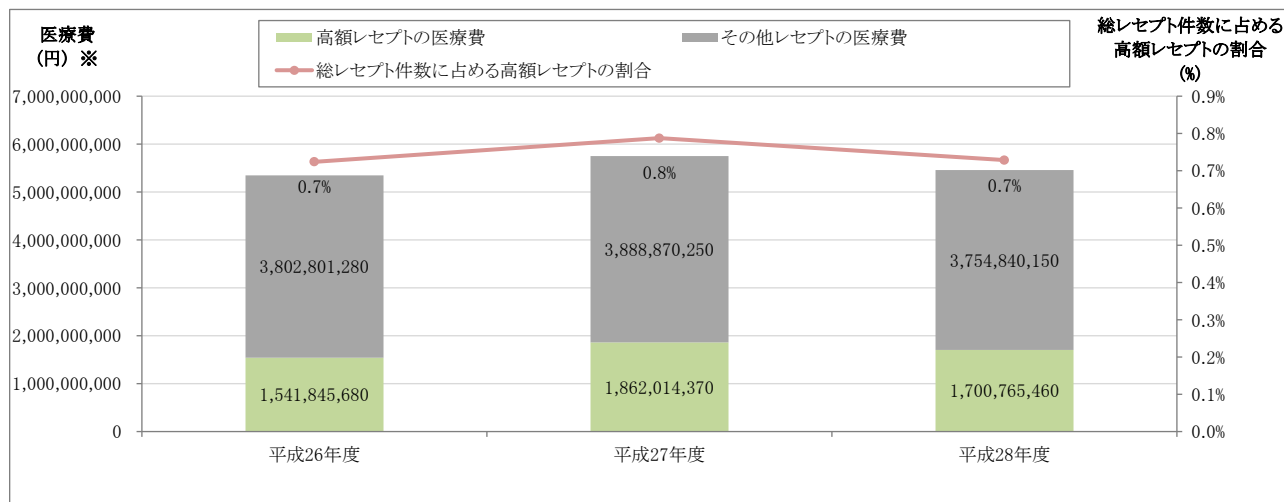
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成26年度から平成28年度の高額レセプトで、複数年上位にきている疾患は「てんかん」「くも膜下出血」「心臓の先天奇形」となっています。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向上位5疾病(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者一人当たりの医療費(円) ※
平成26年度	1	0603 てんかん	てんかん, 症候性てんかん	7,692,913
	2	1010 喘息	気管支喘息発作	7,652,220
	3	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	続発性ヘモクロマトーシス, カルニチン欠乏症, 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群	6,579,313
	4	0209 白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病, 成人T細胞白血病リンパ腫・急性型	6,489,014
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	6,285,448
平成27年度	1	1701 心臓の先天奇形	完全大血管転位症2型	16,534,320
	2	0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	ヘルペス脳炎	8,546,760
	3	1010 喘息	気管支喘息発作	7,800,950
	4	0904 くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	6,909,622
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	極低出生体重児	6,727,340
平成28年度	1	1701 心臓の先天奇形	完全型房室中隔欠損症	8,646,790
	2	0904 くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 後交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	6,648,508
	3	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 続発性血小板減少性紫斑病	6,305,570
	4	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	生体腎移植後, 人工股関節置換術後, 胃瘻造設状態	5,600,917
	5	0603 てんかん	てんかん	5,376,595

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年度で患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「虚血性心疾患」「腎不全」です。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 卵巣癌	89	175,771,290	113,109,270	288,880,560	3,245,849
2	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 陳旧性心筋梗塞	41	82,921,130	23,915,380	106,836,510	2,605,769
3	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	36	35,932,860	155,603,880	191,536,740	5,320,465
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 大腿骨転子部骨折	36	70,296,260	8,628,400	78,924,660	2,192,352
5	1113	その他の消化器系の疾患	肛径ヘルニア, 潰瘍性大腸炎, 便秘症	30	48,046,550	15,391,690	63,438,240	2,114,608
6	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 大動脈弁狭窄症, 発作性心房細動	29	73,070,360	45,891,690	118,962,050	4,102,140
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	原発性肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	28	52,994,430	78,729,160	131,723,590	4,704,414
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃進行癌, 残胃癌	27	53,434,020	18,946,620	72,380,640	2,680,764
9	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 横行結腸癌	25	54,014,220	37,502,930	91,517,150	3,660,686
10	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞・急性期, ラクナ梗塞, 心原性脳塞栓症	24	73,485,430	6,187,330	79,672,760	3,319,698
10	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 胆のう結石症, 総胆管結石性胆管炎	24	24,248,070	7,648,130	31,896,200	1,329,008
10	1302	関節症	変形性股関節症, 一側性原発性膝関節症, 変形性膝関節症	24	52,257,770	11,097,590	63,355,360	2,639,807
13	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	肺腫瘍, 卵巣のう腫, 骨髄異形成症候群	23	50,466,290	7,938,630	58,404,920	2,539,344
14	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想性障害	21	40,868,350	20,486,960	61,355,310	2,921,681
15	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸癌術後再発, 直腸S状部結腸癌	18	31,144,580	18,679,070	49,823,650	2,767,981
15	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 前十字靭帯損傷, 肩腱板損傷	18	26,902,260	6,427,650	33,329,910	1,851,662
17	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	17	15,784,910	26,360,950	42,145,860	2,479,168
17	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 胸椎後縦靭帯骨化症	17	29,031,430	5,965,740	34,997,170	2,058,657
19	0402	糖尿病	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり, 増殖性糖尿病性網膜症, 糖尿病性ケトアシドーシス	15	14,585,820	8,655,150	23,240,970	1,549,398
19	0905	脳内出血	被殻出血, 視床出血, 脳出血	15	71,971,660	2,566,770	74,538,430	4,969,229

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計しました。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限りません)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の16.8%、「循環器系の疾患」は医療費合計の15.9%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示します。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	140,991,899	2.6%	12	18,716	13	5,046	9	27,941	15
II. 新生物<腫瘍>	912,193,709	16.8%	1	23,523	9	5,657	7	161,250	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	35,293,543	0.6%	15	6,587	16	1,668	16	21,159	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	502,613,000	9.3%	3	70,968	2	7,228	3	69,537	7
V. 精神及び行動の障害	470,785,635	8.7%	4	24,213	8	1,962	14	239,952	1
VI. 神経系の疾患	267,786,803	4.9%	9	42,242	5	4,077	11	65,682	9
VII. 眼及び付属器の疾患	235,201,775	4.3%	10	32,259	7	6,024	6	39,044	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	32,633,490	0.6%	16	6,568	17	1,719	15	18,984	18
IX. 循環器系の疾患	861,131,233	15.9%	2	74,640	1	7,048	4	122,181	3
X. 呼吸器系の疾患	305,091,444	5.6%	8	42,160	6	8,306	2	36,731	14
X I. 消化器系の疾患 ※	425,937,416	7.8%	6	68,005	3	8,316	1	51,219	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	91,132,720	1.7%	13	22,496	10	5,133	8	17,754	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	453,036,851	8.3%	5	54,051	4	6,589	5	68,757	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	379,678,487	7.0%	7	19,710	11	3,783	12	100,364	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,606,814	0.1%	19	254	20	94	20	70,285	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,016,618	0.1%	21	39	21	26	21	116,024	4
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	12,152,555	0.2%	18	759	19	257	19	47,286	12
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	74,052,353	1.4%	14	18,940	12	4,452	10	16,634	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	187,552,389	3.5%	11	10,631	14	3,335	13	56,238	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	28,908,460	0.5%	17	8,533	15	1,225	17	23,599	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,690,266	0.1%	20	5,445	18	878	18	5,342	21
合計	5,430,487,460			230,601		15,389		352,881	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しません(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

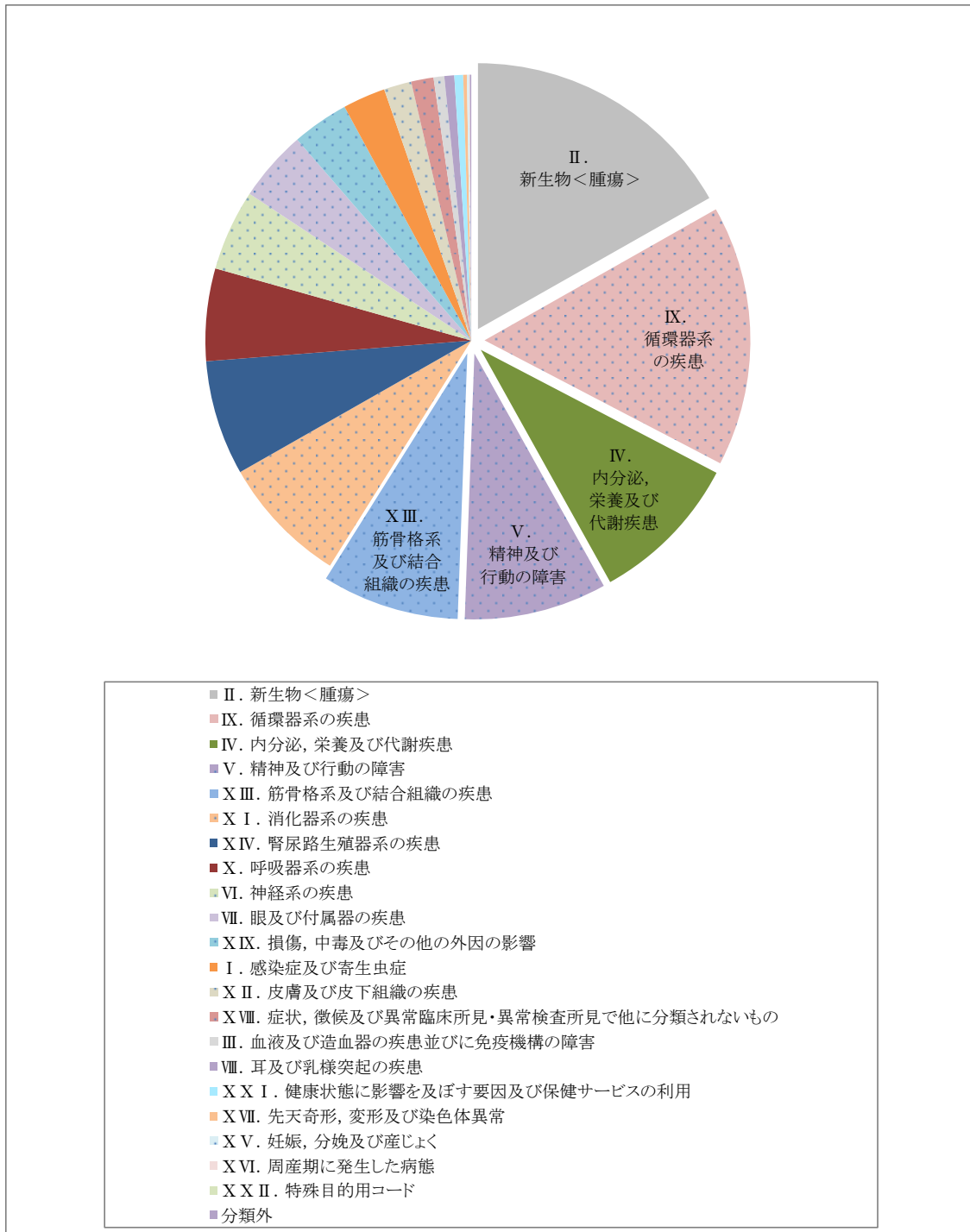
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性があります。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「精神及び行動の障害」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

平成26年度から平成28年度の3年連続で医療費割合1位「新生物<腫瘍>」2位「循環器系の疾患」3位「内分泌、栄養及び代謝疾患」となっています。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示します。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	124,914,630	2.4%	12	203,260,458	3.6%	11	140,991,899	2.6%	12
II. 新生物<腫瘍>	848,258,270	16.0%	1	926,638,679	16.2%	1	912,193,709	16.8%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	39,696,852	0.7%	15	58,891,389	1.0%	15	35,293,543	0.6%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	497,556,355	9.4%	3	519,143,604	9.1%	3	502,613,000	9.3%	3
V. 精神及び行動の障害	493,991,423	9.3%	4	498,027,739	8.7%	4	470,785,635	8.7%	4
VI. 神経系の疾患	267,177,490	5.0%	9	271,925,998	4.7%	9	267,786,803	4.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	243,256,079	4.6%	10	255,530,954	4.5%	10	235,201,775	4.3%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	37,052,536	0.7%	16	38,271,889	0.7%	16	32,633,490	0.6%	16
IX. 循環器系の疾患	747,136,810	14.1%	2	891,280,802	15.6%	2	861,131,233	15.9%	2
X. 呼吸器系の疾患	304,945,158	5.7%	8	315,162,116	5.5%	8	305,091,444	5.6%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	447,236,149	8.4%	6	452,905,273	7.9%	6	425,937,416	7.8%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	87,831,193	1.7%	13	90,713,239	1.6%	13	91,132,720	1.7%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	464,623,357	8.8%	5	466,693,936	8.2%	5	453,036,851	8.3%	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	394,894,137	7.4%	7	420,907,933	7.4%	7	379,678,487	7.0%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	7,769,236	0.1%	18	13,760,945	0.2%	19	6,606,814	0.1%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,551,624	0.0%	21	10,348,353	0.2%	20	3,016,618	0.1%	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,717,371	0.1%	20	19,360,905	0.3%	18	12,152,555	0.2%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	73,200,404	1.4%	14	79,148,697	1.4%	14	74,052,353	1.4%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	193,406,484	3.6%	11	161,612,938	2.8%	12	187,552,389	3.5%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,869,685	0.5%	17	25,717,540	0.4%	17	28,908,460	0.5%	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	6,043,297	0.1%	19	5,715,813	0.1%	21	4,690,266	0.1%	20
合計	5,309,128,540			5,725,019,200			5,430,487,460		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

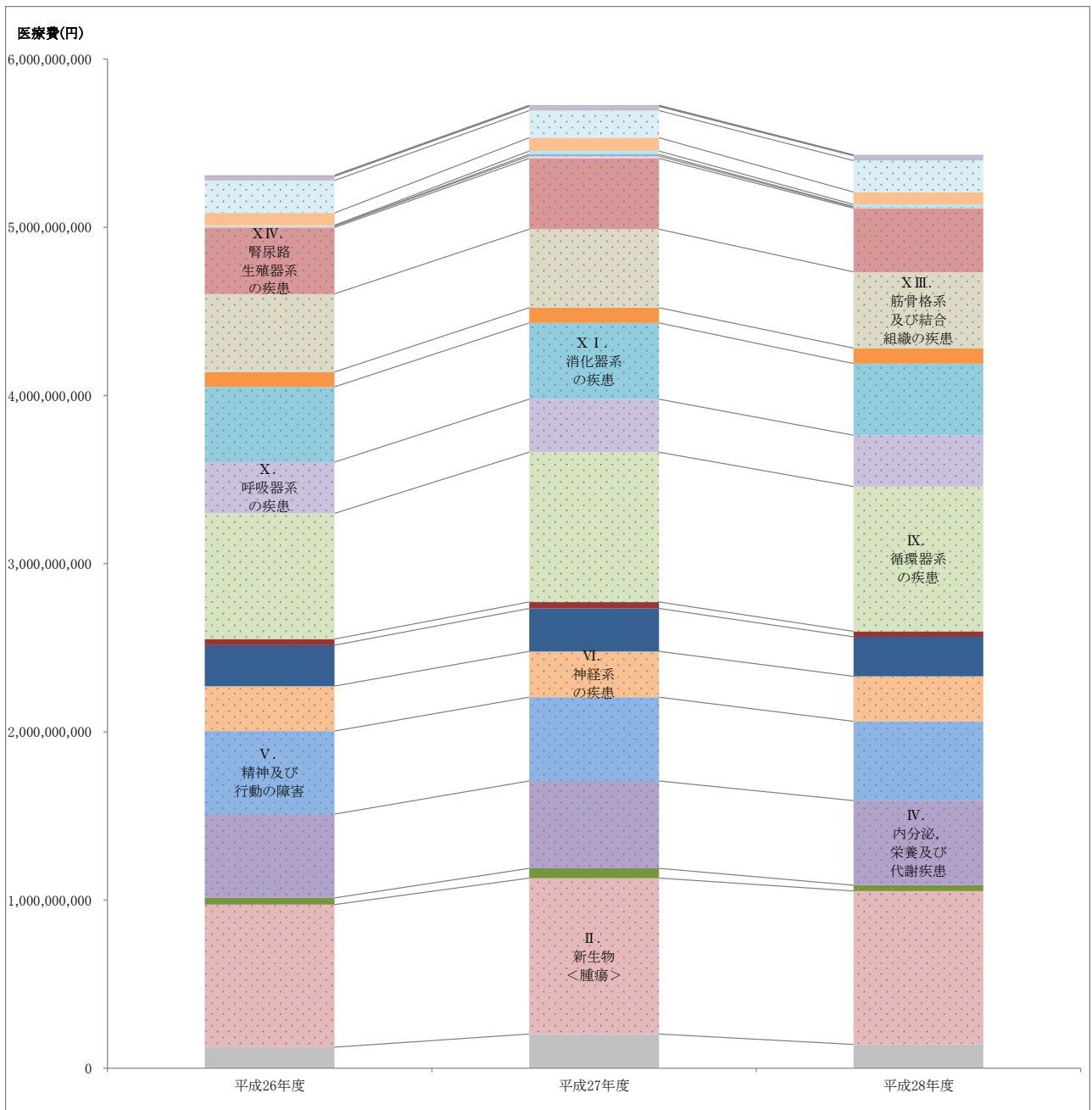
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性があります。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年度の医療費1位の疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」でした。その他、患者数1位の疾患は「高血圧症疾患」、患者一人当たりの医療費が高額な疾病の1位は「腎不全」となりました。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	298,383,249	5.5%	2,762
2	0402 糖尿病	260,101,180	4.8%	4,278
3	1402 腎不全	253,202,544	4.7%	397
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	249,010,981	4.6%	546
5	0901 高血圧性疾患	247,241,944	4.6%	5,145
6	1113 その他の消化器系の疾患	217,585,799	4.0%	4,834
7	0903 その他の心疾患	204,242,302	3.8%	2,654
8	0403 脂質異常症	157,426,081	2.9%	3,971
9	0606 その他の神経系の疾患	156,190,628	2.9%	3,757
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	143,137,611	2.6%	875

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	247,241,944	5,145	33.4%
2	0703 屈折及び調節の障害	24,569,538	5,027	32.7%
3	1113 その他の消化器系の疾患	217,585,799	4,834	31.4%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	74,052,353	4,452	28.9%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	60,547,506	4,304	28.0%
6	0402 糖尿病	260,101,180	4,278	27.8%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	130,503,311	4,105	26.7%
8	0403 脂質異常症	157,426,081	3,971	25.8%
9	0606 その他の神経系の疾患	156,190,628	3,757	24.4%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	42,277,049	3,737	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	253,202,544	397	637,790
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	249,010,981	546	456,064
3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	52,200,796	130	401,545
4	0208 悪性リンパ腫	45,558,878	117	389,392
5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	27,393,043	71	385,818
6	0209 白血病	16,960,610	45	376,902
7	0905 脳内出血	54,548,471	234	233,113
8	1502 妊娠高血圧症候群	1,067,655	5	213,531
9	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,964,705	10	196,471
10	0507 その他の精神及び行動の障害	32,434,268	194	167,187

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

平成26年度から平成28年度で「その他の悪性新生物<腫瘍>」の他、生活習慣病である「高血圧症疾患」「糖尿病」「脂質異常症」が毎年医療費上位10疾患の中に入っています。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	279,532,717	5.3%	5,088
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	278,260,457	5.2%	2,800
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	268,521,281	5.1%	526
	4	0402 糖尿病	259,024,696	4.9%	4,036
	5	1402 腎不全	254,628,236	4.8%	314
	6	1113 その他の消化器系の疾患	218,137,743	4.1%	4,927
	7	0403 脂質異常症	153,842,528	2.9%	3,878
	8	0903 その他の心疾患	151,284,585	2.8%	2,573
	9	0606 その他の神経系の疾患	149,082,268	2.8%	3,758
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	141,718,474	2.7%	828
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	355,960,414	6.2%	2,838
	2	0901 高血圧性疾患	274,959,716	4.8%	5,223
	3	1402 腎不全	272,835,597	4.8%	375
	4	0402 糖尿病	267,686,235	4.7%	4,312
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	265,458,438	4.6%	539
	6	1113 その他の消化器系の疾患	227,987,929	4.0%	5,122
	7	0903 その他の心疾患	216,316,234	3.8%	2,670
	8	0403 脂質異常症	163,459,257	2.9%	4,014
	9	0902 虚血性心疾患	163,272,684	2.9%	1,613
	10	0606 その他の神経系の疾患	160,433,366	2.8%	3,787
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	298,383,249	5.5%	2,762
	2	0402 糖尿病	260,101,180	4.8%	4,278
	3	1402 腎不全	253,202,544	4.7%	397
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	249,010,981	4.6%	546
	5	0901 高血圧性疾患	247,241,944	4.6%	5,145
	6	1113 その他の消化器系の疾患	217,585,799	4.0%	4,834
	7	0903 その他の心疾患	204,242,302	3.8%	2,654
	8	0403 脂質異常症	157,426,081	2.9%	3,971
	9	0606 その他の神経系の疾患	156,190,628	2.9%	3,757
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	143,137,611	2.6%	875

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病でも平成26年度から平成28年度の3年間のうち生活習慣病である「高血圧性疾患」「糖尿病」「脂質異常症」が入っています。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	279,532,717	5,088	32.1%
	2	0703 屈折及び調節の障害	25,833,041	5,034	31.8%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	218,137,743	4,927	31.1%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	66,386,149	4,375	27.6%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	73,200,404	4,311	27.2%
	6	0402 糖尿病	259,024,696	4,036	25.5%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	131,926,298	3,973	25.1%
	8	0403 脂質異常症	153,842,528	3,878	24.5%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	42,292,348	3,791	23.9%
	10	0606 その他の神経系の疾患	149,082,268	3,758	23.7%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	274,959,716	5,223	33.3%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	227,987,929	5,122	32.6%
	3	0703 屈折及び調節の障害	24,847,554	5,067	32.3%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79,148,697	4,482	28.5%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	65,268,553	4,387	27.9%
	6	0402 糖尿病	267,686,235	4,312	27.5%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	137,912,192	4,098	26.1%
	8	0403 脂質異常症	163,459,257	4,014	25.6%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	42,962,001	3,795	24.2%
	10	0606 その他の神経系の疾患	160,433,366	3,787	24.1%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	247,241,944	5,145	33.4%
	2	0703 屈折及び調節の障害	24,569,538	5,027	32.7%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	217,585,799	4,834	31.4%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	74,052,353	4,452	28.9%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	60,547,506	4,304	28.0%
	6	0402 糖尿病	260,101,180	4,278	27.8%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	130,503,311	4,105	26.7%
	8	0403 脂質異常症	157,426,081	3,971	25.8%
	9	0606 その他の神経系の疾患	156,190,628	3,757	24.4%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	42,277,049	3,737	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病について、「腎不全」「白血病」「悪性リンパ腫」「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>」等が3年連続で入っています。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	33,204,380	40	830,110
	2	1402 腎不全	254,628,236	314	810,918
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	34,850,359	63	553,180
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	65,533,096	125	524,265
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	268,521,281	526	510,497
	6	0208 悪性リンパ腫	42,436,596	124	342,231
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	4,742,791	24	197,616
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	68,307,977	386	176,964
	9	0904 くも膜下出血	26,001,186	150	173,341
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	141,718,474	828	171,158
平成27年度	1	1402 腎不全	272,835,597	375	727,562
	2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,477,513	12	623,126
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	30,961,898	62	499,385
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	265,458,438	539	492,502
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	62,623,151	129	485,451
	6	0209 白血病	21,397,540	46	465,164
	7	0208 悪性リンパ腫	51,303,144	117	438,488
	8	1701 心臓の先天奇形	15,290,809	38	402,390
	9	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	153,968,574	866	177,793
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	73,266,100	431	169,991
平成28年度	1	1402 腎不全	253,202,544	397	637,790
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	249,010,981	546	456,064
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	52,200,796	130	401,545
	4	0208 悪性リンパ腫	45,558,878	117	389,392
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	27,393,043	71	385,818
	6	0209 白血病	16,960,610	45	376,902
	7	0905 脳内出血	54,548,471	234	233,113
	8	1502 妊娠高血圧症候群	1,067,655	5	213,531
	9	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,964,705	10	196,471
	10	0507 その他の精神及び行動の障害	32,434,268	194	167,187

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,430,487,460	230,601	15,389

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	140,991,899	2.6%		18,716	8.1%		5,046	32.8%		27,941	
0101 腸管感染症	9,577,383	0.2%	82	4,599	2.0%	49	1,852	12.0%	29	5,171	113
0102 結核	3,604,435	0.1%	101	583	0.3%	99	188	1.2%	95	19,173	74
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,987,461	0.0%	108	728	0.3%	95	401	2.6%	79	4,956	116
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	10,352,270	0.2%	80	2,447	1.1%	68	872	5.7%	55	11,872	94
0105 ウイルス性肝炎	72,278,347	1.3%	25	2,591	1.1%	66	672	4.4%	65	107,557	21
0106 その他のウイルス性疾患	3,229,884	0.1%	103	549	0.2%	100	278	1.8%	87	11,618	98
0107 真菌症	22,890,755	0.4%	57	5,513	2.4%	41	1,419	9.2%	36	16,132	82
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	133,030	0.0%	119	77	0.0%	112	26	0.2%	112	5,117	114
0109 その他の感染症及び寄生虫症	16,938,334	0.3%	68	3,932	1.7%	51	1,272	8.3%	42	13,316	89
II. 新生物<腫瘍>	912,193,709	16.8%		23,523	10.2%		5,657	36.8%		161,250	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	86,685,737	1.6%	18	3,693	1.6%	54	1,349	8.8%	37	64,259	31
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	94,430,901	1.7%	14	3,805	1.7%	52	1,421	9.2%	35	66,454	29
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	52,200,796	1.0%	35	789	0.3%	93	130	0.8%	97	401,545	3
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	36,046,913	0.7%	46	1,594	0.7%	81	507	3.3%	74	71,098	28
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	112,604,641	2.1%	13	2,310	1.0%	71	858	5.6%	57	131,241	17
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	72,555,748	1.3%	24	2,460	1.1%	67	461	3.0%	76	157,388	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	19,631,252	0.4%	61	1,017	0.4%	90	589	3.8%	68	33,330	52
0208 悪性リンパ腫	45,558,878	0.8%	37	521	0.2%	101	117	0.8%	102	389,392	4
0209 白血病	16,960,610	0.3%	67	270	0.1%	105	45	0.3%	108	376,902	6
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	298,383,249	5.5%	1	9,670	4.2%	28	2,762	17.9%	16	108,032	20
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	77,134,984	1.4%	21	4,832	2.1%	46	2,116	13.8%	25	36,453	48
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	35,293,543	0.6%		6,587	2.9%		1,668	10.8%		21,159	
0301 貧血	14,250,397	0.3%	72	3,752	1.6%	53	920	6.0%	51	15,490	84
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21,043,146	0.4%	59	3,259	1.4%	59	999	6.5%	49	21,064	70
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	502,613,000	9.3%		70,968	30.8%		7,228	47.0%		69,537	
0401 甲状腺障害	27,251,955	0.5%	53	6,114	2.7%	39	1,329	8.6%	39	20,506	72
0402 糖尿病	260,101,180	4.8%	2	33,973	14.7%	5	4,278	27.8%	6	60,800	34
0403 脂質異常症	157,426,081	2.9%	8	43,419	18.8%	2	3,971	25.8%	8	39,644	47
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	57,833,784	1.1%	32	15,097	6.5%	15	2,268	14.7%	24	25,500	61
V. 精神及び行動の障害	470,785,635	8.7%		24,213	10.5%		1,962	12.7%		239,952	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,170,996	0.0%	111	124	0.1%	110	26	0.2%	112	45,038	42
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	11,272,291	0.2%	77	602	0.3%	98	70	0.5%	107	161,033	12
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	249,010,981	4.6%	4	9,631	4.2%	29	546	3.5%	71	456,064	2

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,430,487,460	230,601	15,389

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	143,137,611	2.6%	10	12,440	5.4%	19	875	5.7%	54	163,586	11
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	33,539,210	0.6%	49	9,772	4.2%	27	1,038	6.7%	48	32,311	53
0506	知的障害<精神遅滞>	220,278	0.0%	116	55	0.0%	113	31	0.2%	111	7,106	106
0507	その他の精神及び行動の障害	32,434,268	0.6%	50	1,487	0.6%	82	194	1.3%	94	167,187	10
VI. 神経系の疾患		267,786,803	4.9%		42,242	18.3%		4,077	26.5%		65,682	
0601	パーキンソン病	38,473,294	0.7%	43	4,939	2.1%	44	290	1.9%	86	132,667	16
0602	アルツハイマー病	16,815,037	0.3%	69	1,283	0.6%	83	141	0.9%	96	119,256	18
0603	てんかん	26,650,050	0.5%	54	3,316	1.4%	57	295	1.9%	85	90,339	23
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	27,393,043	0.5%	52	356	0.2%	103	71	0.5%	106	385,818	5
0605	自律神経系の障害	2,264,751	0.0%	107	1,036	0.4%	89	126	0.8%	98	17,974	78
0606	その他の神経系の疾患	156,190,628	2.9%	9	37,681	16.3%	4	3,757	24.4%	9	41,573	44
VII. 眼及び付属器の疾患		235,201,775	4.3%		32,259	14.0%		6,024	39.1%		39,044	
0701	結膜炎	18,528,450	0.3%	62	12,000	5.2%	21	2,526	16.4%	23	7,335	105
0702	白内障	61,600,476	1.1%	29	11,208	4.9%	22	1,909	12.4%	28	32,268	54
0703	屈折及び調節の障害	24,569,538	0.5%	55	23,380	10.1%	8	5,027	32.7%	2	4,888	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	130,503,311	2.4%	11	24,226	10.5%	7	4,105	26.7%	7	31,791	56
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		32,633,490	0.6%		6,568	2.8%		1,719	11.2%		18,984	
0801	外耳炎	1,885,379	0.0%	110	1,157	0.5%	88	429	2.8%	77	4,395	118
0802	その他の外耳疾患	3,038,166	0.1%	105	1,880	0.8%	78	734	4.8%	60	4,139	119
0803	中耳炎	6,279,642	0.1%	89	1,750	0.8%	79	519	3.4%	73	12,100	92
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	3,100,228	0.1%	104	1,203	0.5%	87	418	2.7%	78	7,417	104
0805	メニエール病	8,480,341	0.2%	85	2,025	0.9%	77	391	2.5%	81	21,689	67
0806	その他の内耳疾患	3,356,391	0.1%	102	315	0.1%	104	119	0.8%	100	28,205	59
0807	その他の耳疾患	6,493,343	0.1%	88	2,756	1.2%	65	724	4.7%	61	8,969	101
IX. 循環器系の疾患		861,131,233	15.9%		74,640	32.4%		7,048	45.8%		122,181	
0901	高血圧性疾患	247,241,944	4.6%	5	60,816	26.4%	1	5,145	33.4%	1	48,055	41
0902	虚血性心疾患	121,381,588	2.2%	12	12,398	5.4%	20	1,566	10.2%	34	77,511	25
0903	その他の心疾患	204,242,302	3.8%	7	18,118	7.9%	11	2,654	17.2%	19	76,956	27
0904	くも膜下出血	17,974,927	0.3%	63	199	0.1%	108	120	0.8%	99	149,791	14
0905	脳内出血	54,548,471	1.0%	34	676	0.3%	96	234	1.5%	91	233,113	7
0906	脳梗塞	90,929,486	1.7%	15	6,923	3.0%	38	1,129	7.3%	46	80,540	24
0907	脳動脈硬化(症)	91,300	0.0%	120	40	0.0%	116	11	0.1%	118	8,300	102
0908	その他の脳血管疾患	38,274,257	0.7%	44	2,211	1.0%	73	616	4.0%	67	62,134	32
0909	動脈硬化(症)	14,311,014	0.3%	71	3,157	1.4%	60	784	5.1%	59	18,254	77
0911	低血圧(症)	764,826	0.0%	114	379	0.2%	102	45	0.3%	108	16,996	79
0912	その他の循環器系の疾患	71,371,118	1.3%	26	4,652	2.0%	48	927	6.0%	50	76,991	26
X. 呼吸器系の疾患		305,091,444	5.6%		42,160	18.3%		8,306	54.0%		36,731	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	5,575,016	0.1%	92	4,913	2.1%	45	1,701	11.1%	32	3,277	120
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	14,034,200	0.3%	73	8,218	3.6%	33	2,802	18.2%	13	5,009	115
1003	その他の急性上気道感染症	17,506,956	0.3%	65	8,469	3.7%	32	2,771	18.0%	14	6,318	110

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,430,487,460	230,601	15,389

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	37,589,443	0.7%	45	2,378	1.0%	69	1,105	7.2%	47	34,018	51
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	22,713,968	0.4%	58	10,554	4.6%	24	3,295	21.4%	12	6,893	108
1006	アレルギー性鼻炎	42,469,755	0.8%	38	17,136	7.4%	13	3,653	23.7%	11	11,626	97
1007	慢性副鼻腔炎	12,900,070	0.2%	74	5,038	2.2%	43	1,166	7.6%	44	11,064	100
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	7,592,824	0.1%	86	2,891	1.3%	64	1,277	8.3%	41	5,946	111
1009	慢性閉塞性肺疾患	23,317,524	0.4%	56	3,688	1.6%	55	664	4.3%	66	35,117	49
1010	喘息	48,619,529	0.9%	36	10,003	4.3%	26	2,002	13.0%	27	24,285	63
1011	その他の呼吸器系の疾患	72,772,159	1.3%	23	7,561	3.3%	35	2,771	18.0%	14	26,262	60
X I . 消化器系の疾患		425,937,416	7.8%		68,005	29.5%		8,316	54.0%		51,219	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	23,831	0.0%	121	16	0.0%	120	10	0.1%	119	2,383	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	184,099	0.0%	118	48	0.0%	114	26	0.2%	112	7,081	107
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	56,579,304	1.0%	33	19,775	8.6%	9	2,761	17.9%	17	20,492	73
1105	胃炎及び十二指腸炎	60,547,506	1.1%	30	27,317	11.8%	6	4,304	28.0%	5	14,068	88
1106	痔核	6,048,761	0.1%	90	1,749	0.8%	80	388	2.5%	82	15,590	83
1107	アルコール性肝疾患	4,698,433	0.1%	96	850	0.4%	92	118	0.8%	101	39,817	46
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	4,289,989	0.1%	99	2,096	0.9%	75	262	1.7%	89	16,374	81
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	9,440,102	0.2%	83	1,255	0.5%	85	272	1.8%	88	34,706	50
1110	その他の肝疾患	20,109,660	0.4%	60	7,665	3.3%	34	1,704	11.1%	31	11,801	96
1111	胆石症及び胆のう炎	35,812,894	0.7%	47	3,016	1.3%	62	689	4.5%	64	51,978	38
1112	膵疾患	10,617,038	0.2%	79	2,074	0.9%	76	569	3.7%	70	18,659	75
1113	その他の消化器系の疾患	217,585,799	4.0%	6	38,588	16.7%	3	4,834	31.4%	3	45,012	43
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		91,132,720	1.7%		22,496	9.8%		5,133	33.4%		17,754	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	10,217,985	0.2%	81	2,109	0.9%	74	865	5.6%	56	11,813	95
1202	皮膚炎及び湿疹	42,277,049	0.8%	39	15,499	6.7%	14	3,737	24.3%	10	11,313	99
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	38,637,686	0.7%	42	10,181	4.4%	25	2,549	16.6%	21	15,158	86
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		453,036,851	8.3%		54,051	23.4%		6,589	42.8%		68,757	
1301	炎症性多発性関節障害	67,197,465	1.2%	28	7,390	3.2%	36	1,139	7.4%	45	58,997	35
1302	関節症	89,443,047	1.6%	17	12,721	5.5%	18	1,801	11.7%	30	49,663	40
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	81,435,350	1.5%	19	14,678	6.4%	16	2,028	13.2%	26	40,155	45
1304	椎間板障害	10,769,278	0.2%	78	2,302	1.0%	72	505	3.3%	75	21,325	68
1305	頸腕症候群	5,815,403	0.1%	91	4,495	1.9%	50	709	4.6%	63	8,202	103
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	40,112,537	0.7%	40	17,805	7.7%	12	2,593	16.8%	20	15,470	85
1307	その他の脊柱障害	14,852,887	0.3%	70	3,101	1.3%	61	723	4.7%	62	20,543	71
1308	肩の傷害<損傷>	12,883,423	0.2%	75	5,628	2.4%	40	850	5.5%	58	15,157	87
1309	骨の密度及び構造の障害	70,435,440	1.3%	27	11,043	4.8%	23	1,282	8.3%	40	54,942	37
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	60,092,021	1.1%	31	13,854	6.0%	17	2,755	17.9%	18	21,812	66

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,430,487,460	230,601	15,389

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	379,678,487	7.0%		19,710	8.5%		3,783	24.6%		100,364	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	17,090,648	0.3%	66	2,335	1.0%	70	537	3.5%	72	31,826	55
1402 腎不全	253,202,544	4.7%	3	3,274	1.4%	58	397	2.6%	80	637,790	1
1403 尿路結石症	9,419,958	0.2%	84	1,253	0.5%	86	376	2.4%	84	25,053	62
1404 その他の腎尿路系の疾患	39,536,490	0.7%	41	8,477	3.7%	31	1,671	10.9%	33	23,660	65
1405 前立腺肥大(症)	33,789,962	0.6%	48	4,782	2.1%	47	588	3.8%	69	57,466	36
1406 その他の男性生殖器系の疾患	3,999,772	0.1%	100	878	0.4%	91	218	1.4%	93	18,348	76
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	5,057,313	0.1%	95	1,257	0.5%	84	240	1.6%	90	21,072	69
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	17,581,800	0.3%	64	2,970	1.3%	63	1,333	8.7%	38	13,190	90
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	6,606,814	0.1%		254	0.1%		94	0.6%		70,285	
1501 流産	249,058	0.0%	115	28	0.0%	117	19	0.1%	115	13,108	91
1502 妊娠高血圧症候群	1,067,655	0.0%	112	9	0.0%	121	5	0.0%	121	213,531	8
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	5,290,101	0.1%	93	229	0.1%	107	82	0.5%	105	64,513	30
XVI. 周産期に発生した病態	3,016,618	0.1%		39	0.0%		26	0.2%		116,024	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,964,705	0.0%	109	17	0.0%	119	10	0.1%	119	196,471	9
1602 その他の周産期に発生した病態	1,051,913	0.0%	113	23	0.0%	118	17	0.1%	116	61,877	33
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	12,152,555	0.2%		759	0.3%		257	1.7%		47,286	
1701 心臓の先天奇形	5,220,706	0.1%	94	123	0.1%	111	38	0.2%	110	137,387	15
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	6,931,849	0.1%	87	655	0.3%	97	226	1.5%	92	30,672	57
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	74,052,353	1.4%		18,940	8.2%		4,452	28.9%		16,634	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	74,052,353	1.4%	22	18,940	8.2%	10	4,452	28.9%	4	16,634	80
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	187,552,389	3.5%		10,631	4.6%		3,335	21.7%		56,238	
1901 骨折	90,477,076	1.7%	16	3,582	1.6%	56	904	5.9%	52	100,085	22
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	12,848,440	0.2%	76	230	0.1%	106	116	0.8%	103	110,762	19
1903 熱傷及び腐食	4,320,758	0.1%	98	167	0.1%	109	87	0.6%	104	49,664	39
1904 中毒	2,505,315	0.0%	106	771	0.3%	94	388	2.5%	82	6,457	109
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	77,400,800	1.4%	20	7,005	3.0%	37	2,533	16.5%	22	30,557	58
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	28,908,460	0.5%		8,533	3.7%		1,225	8.0%		23,599	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	191,604	0.0%	117	43	0.0%	115	16	0.1%	117	11,975	93
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,430,487,460	230,601	15,389

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	730	0.0%	122	1	0.0%	122	1	0.0%	122	730	122
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	28,716,126	0.5%	51	8,491	3.7%	30	1,211	7.9%	43	23,713	64
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		4,690,266	0.1%		5,445	2.4%		878	5.7%		5,342	
9999	分類外	4,690,266	0.1%	97	5,445	2.4%	42	878	5.7%	53	5,342	112

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しません(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

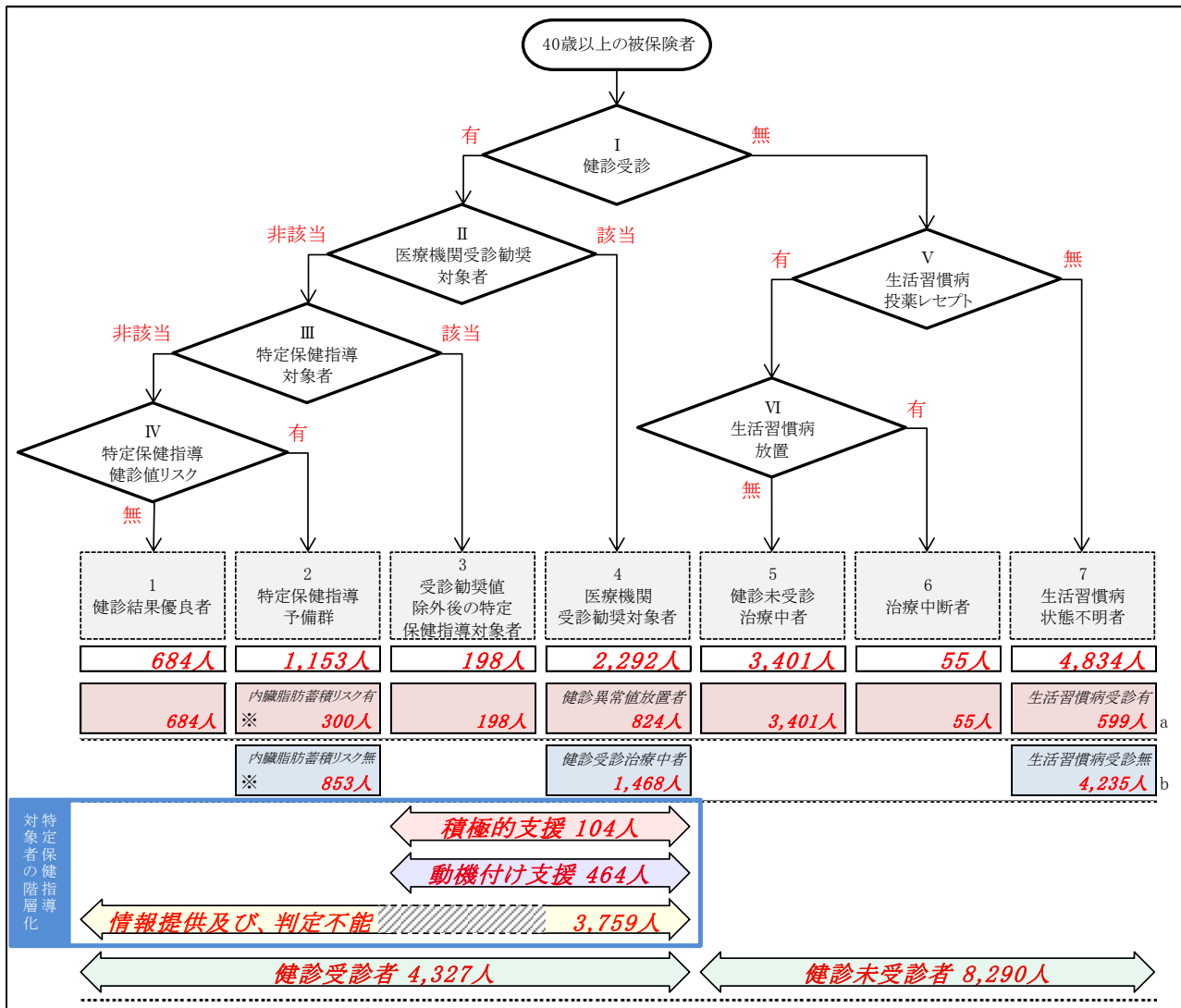
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行います。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類しました。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

健診データを基に算出しており、法定報告値とは異なる。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

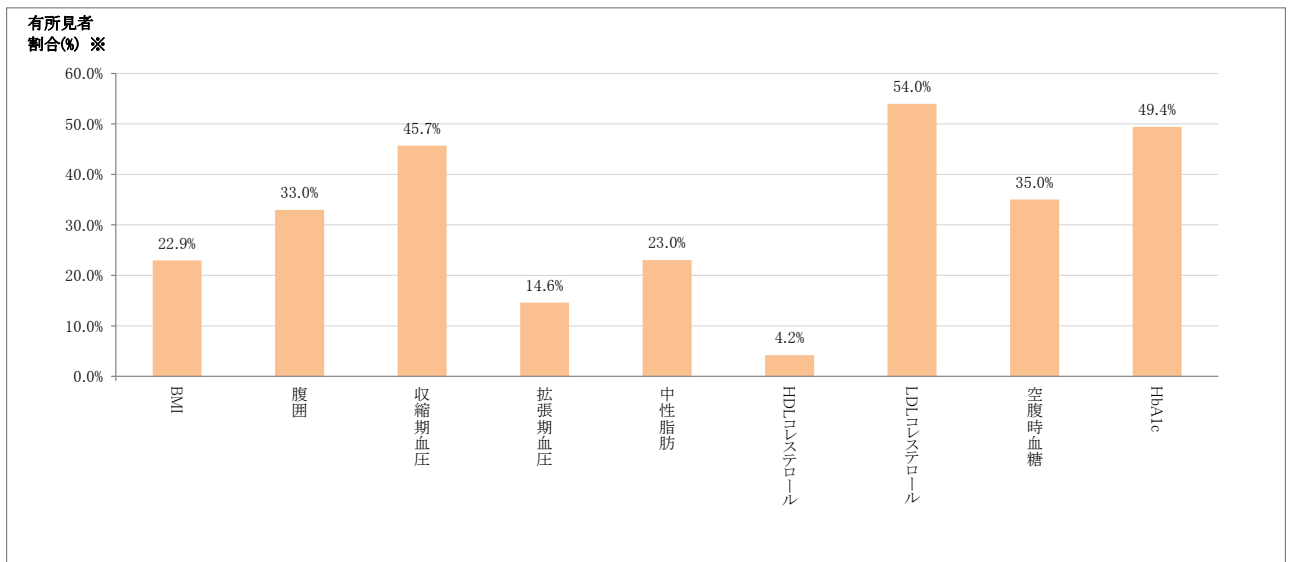
収縮期血圧が45.7%、LDLコレステロールが54.0%、HbA1cが49.4%と有所見者割合が高くなっています。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	4,327	4,327	4,327	4,327
有所見者数(人) ※	993	1,426	1,977	632
有所見者割合(%) ※	22.9%	33.0%	45.7%	14.6%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	4,327	4,327	4,327	177	4,301
有所見者数(人) ※	996	181	2,336	62	2,126
有所見者割合(%) ※	23.0%	4.2%	54.0%	35.0%	49.4%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

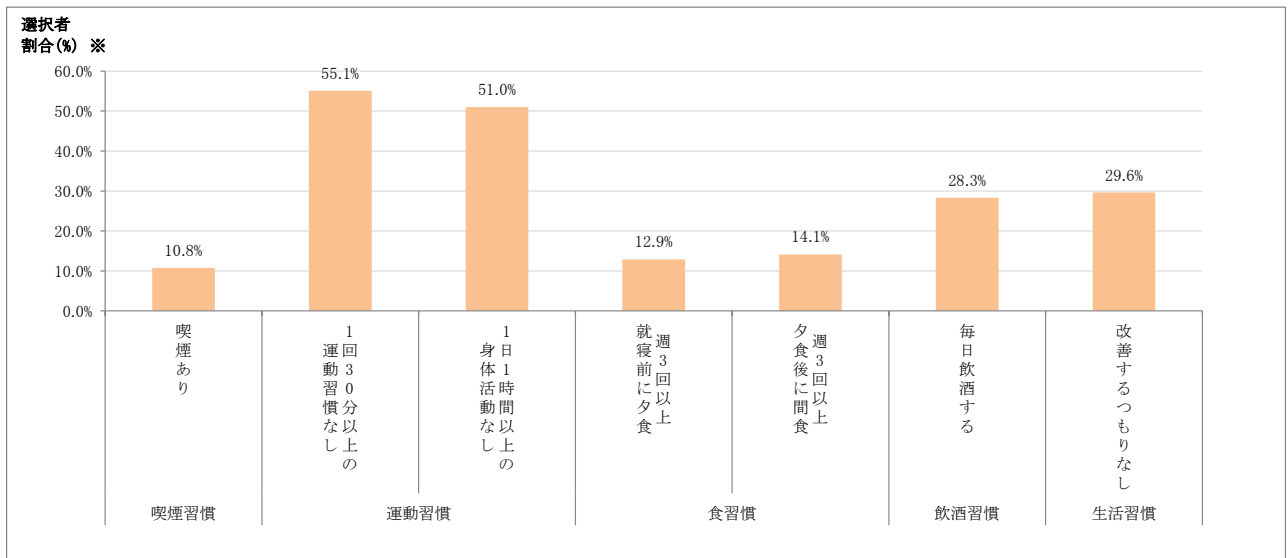
BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	4,327	2,557	2,556
選択者数(人) ※	467	1,408	1,304
選択者割合(%) ※	10.8%	55.1%	51.0%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,556	2,556	4,325	2,556
選択者数(人) ※	330	361	1,224	757
選択者割合(%) ※	12.9%	14.1%	28.3%	29.6%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されています。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けています。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は568人です。このうち、積極的支援の対象者は104人、動機付け支援の対象者は464人です。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者		
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			568人		
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	8人	104人 18%	
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	16人		
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	4人		
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	5人		
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	8人		
	●	●			因子数2	血糖+血圧	16人		
	●		●			血糖+脂質	11人		
	●	●	●			血圧+脂質	22人		
	●			●		血糖+喫煙	5人		
		●		●		血圧+喫煙	2人		
			●	●	脂質+喫煙	5人	なし		0人
	●				因子数1	血糖			1人
		●			血圧	1人			
		●		脂質	0人				
			●	喫煙	0人				
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	5人	464人 82%	
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	37人		
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	10人		
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	5人		
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	10人		
	●	●			因子数2	血糖+血圧	58人		
	●		●			血糖+脂質	29人		
	●	●	●			血圧+脂質	28人		
	●			●		血糖+喫煙	3人		
		●		●		血圧+喫煙	10人		
			●	●	脂質+喫煙	5人	なし		92人
	●				因子数1	血糖			92人
		●			血圧	121人			
		●		脂質	45人				
			●	喫煙	1人				
				因子数0	なし	5人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

健診データを基に算出しており、法定報告値とは異なる。

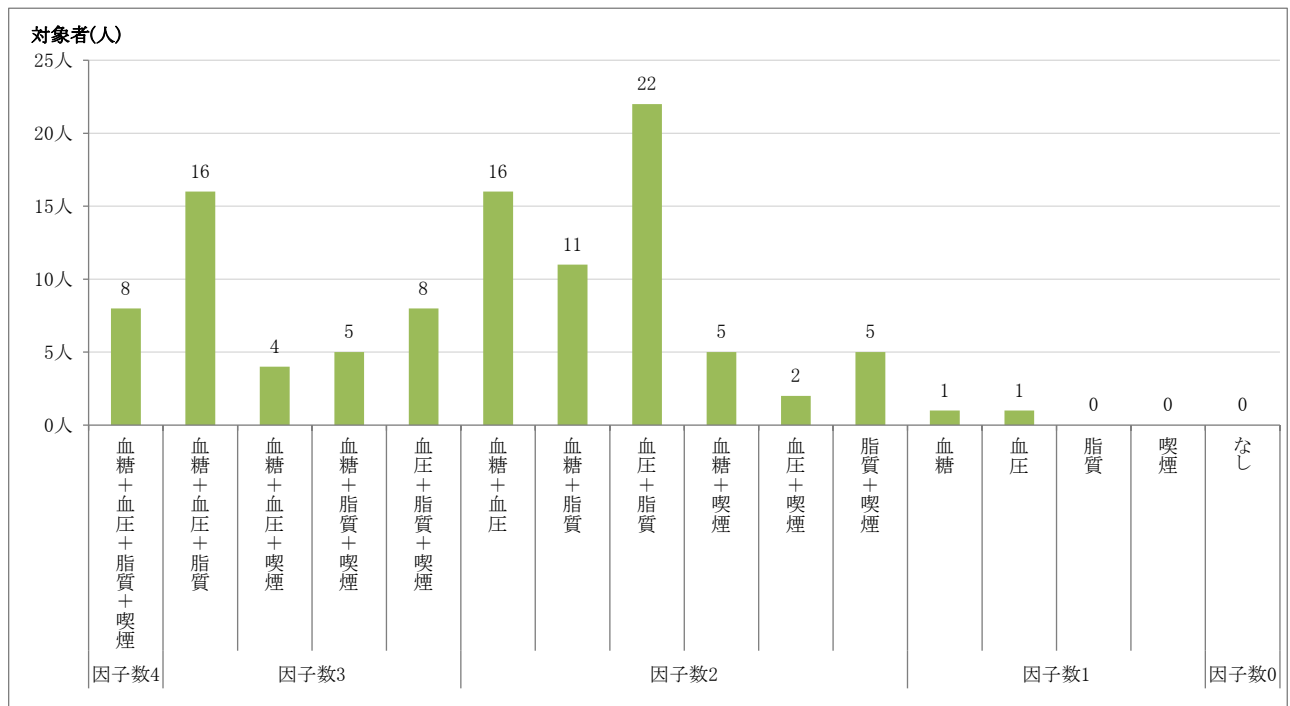
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合があります。

リスク判定の詳細は以下の通りとします。

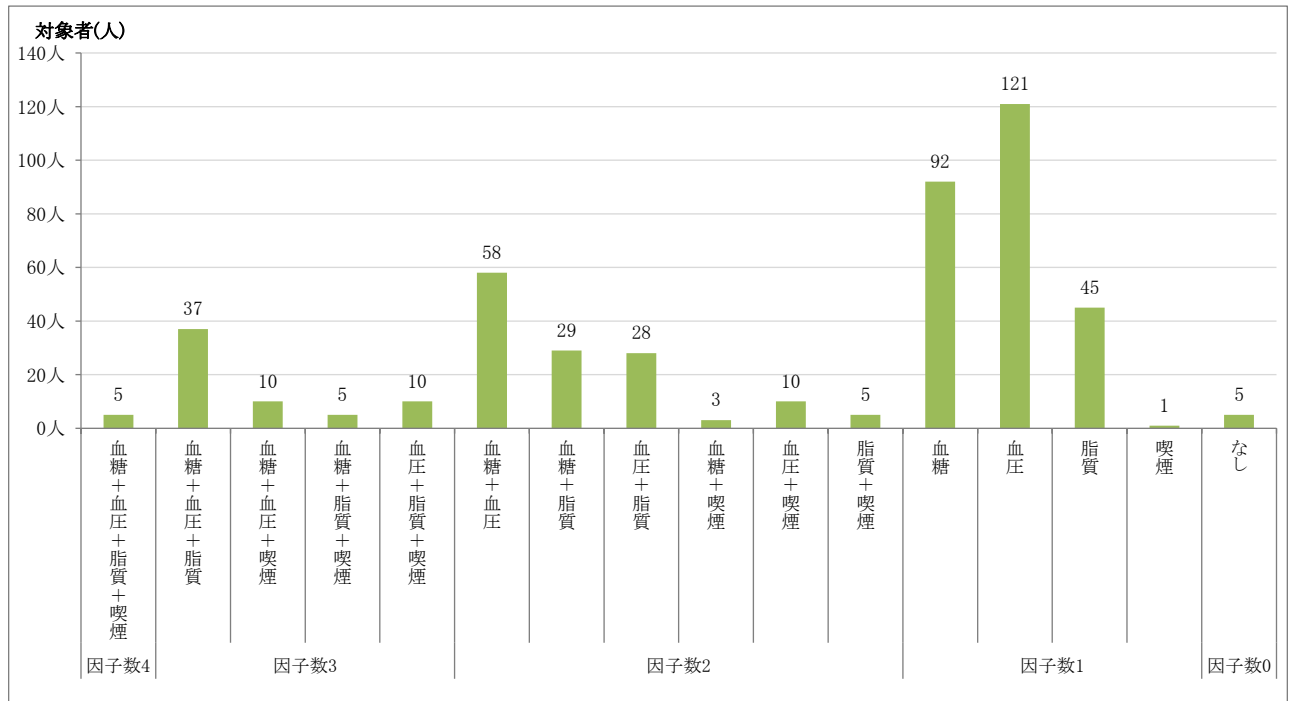
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行いました。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、63.0%が生活習慣を起因とするものであり、その63.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

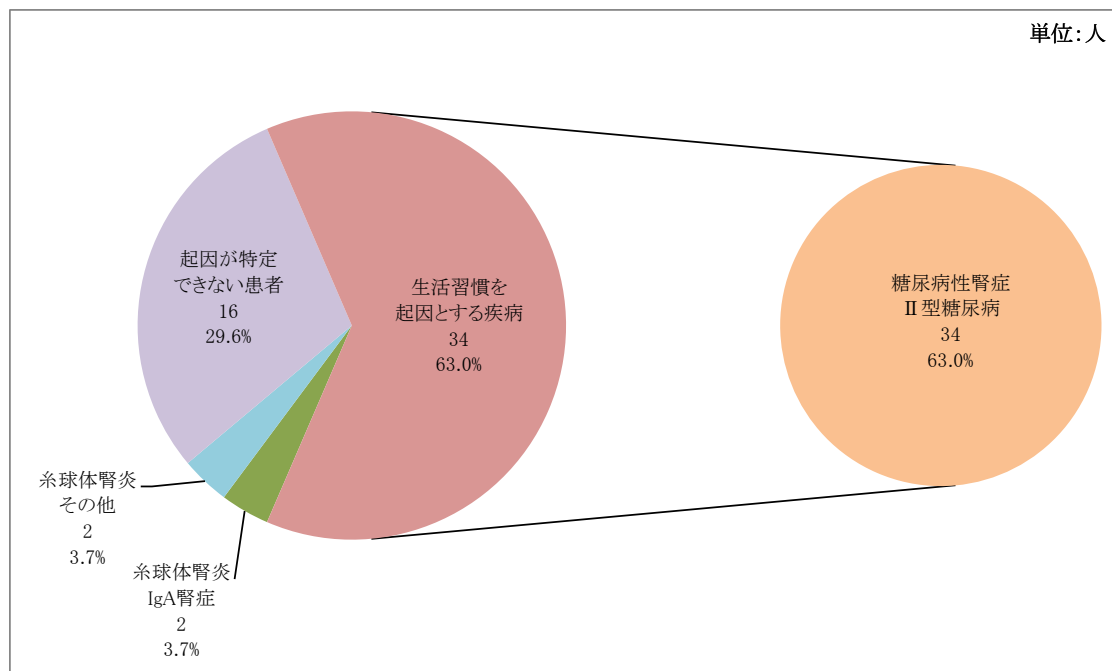
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	48
腹膜透析のみ	4
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	54

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計します。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

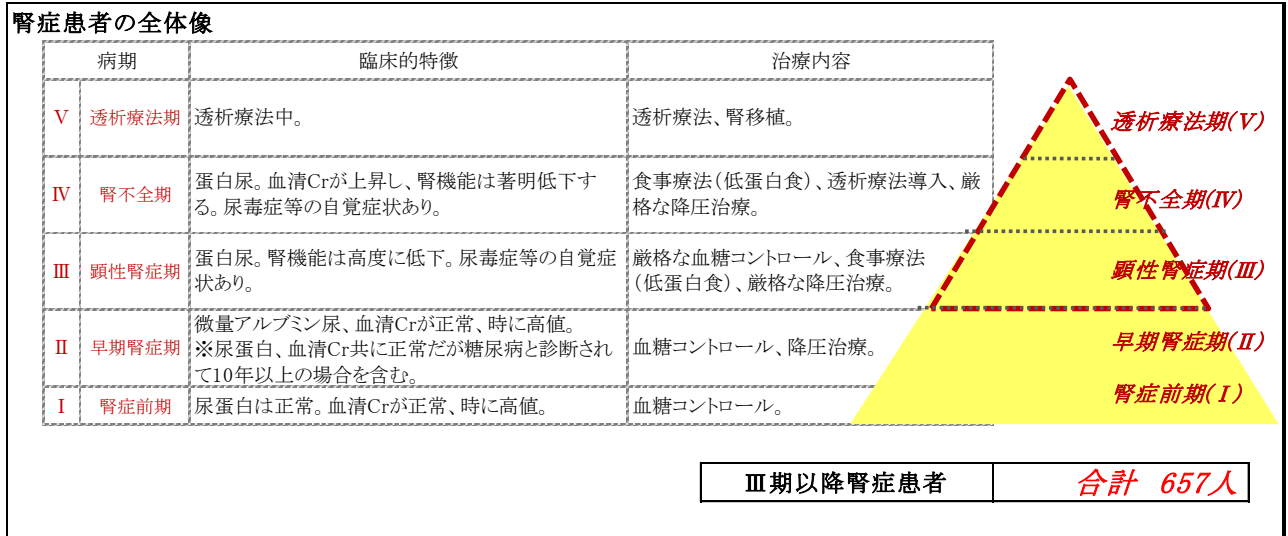
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計します。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。その結果、腎症患者657人中147人の適切な指導対象者を特定しました。

腎症患者の全体像を以下に示します。

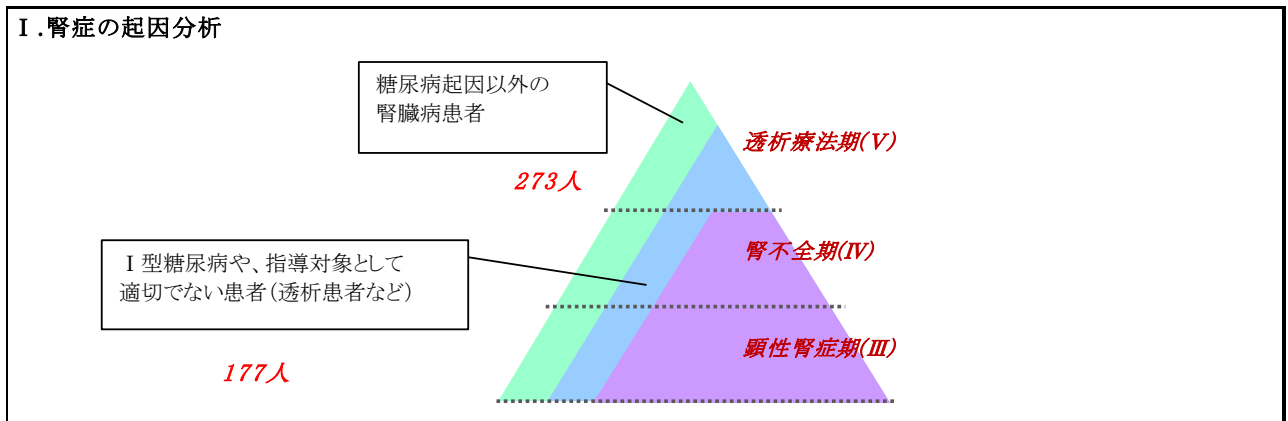
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示します。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、273人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、177人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

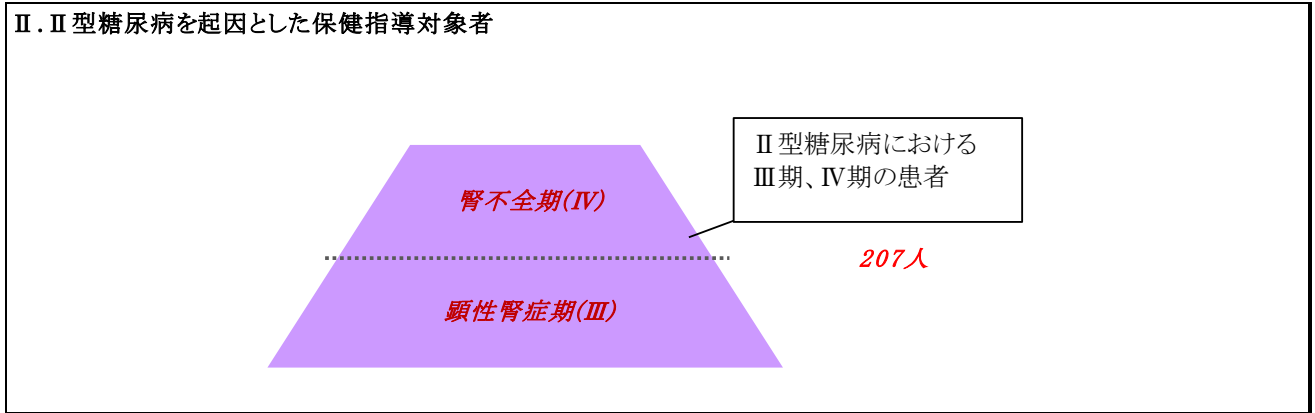
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示します。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて207人となりました。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となります。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

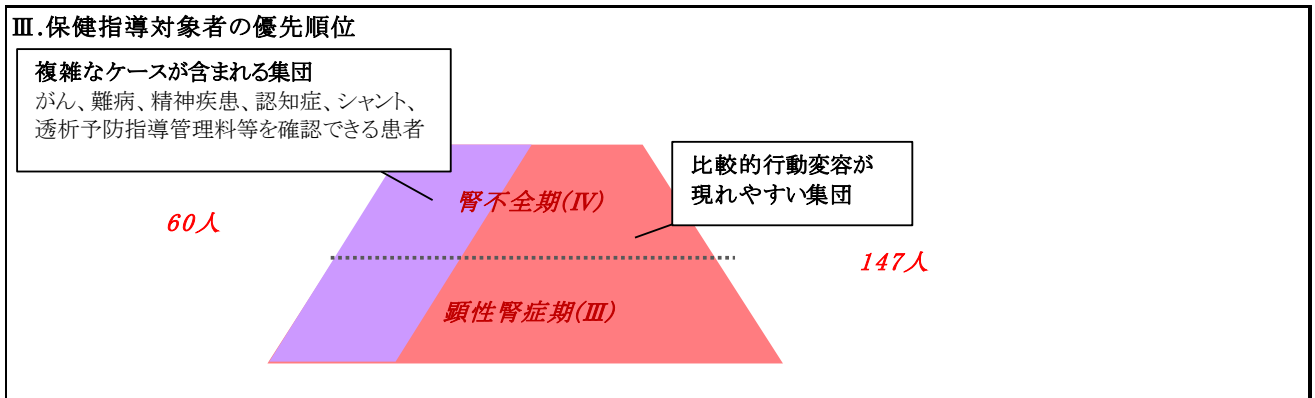


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。207人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、60人存在します。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、147人存在します。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがあります。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

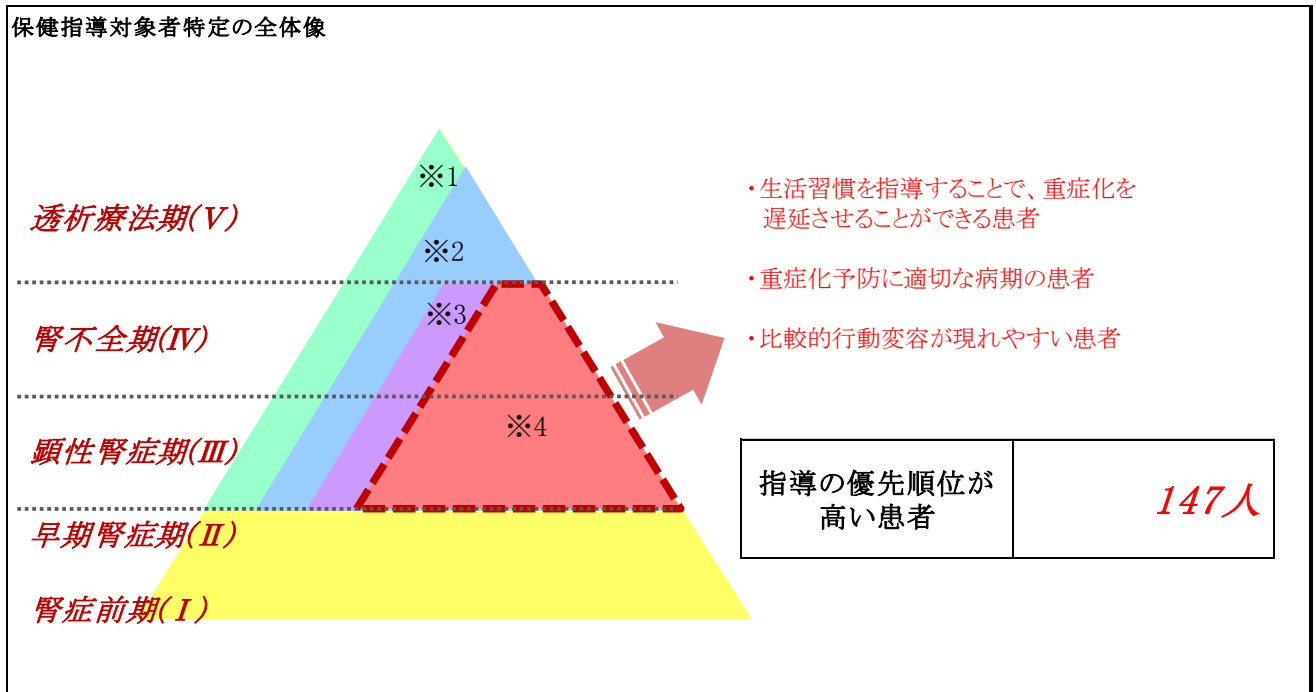
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、147人となりました。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

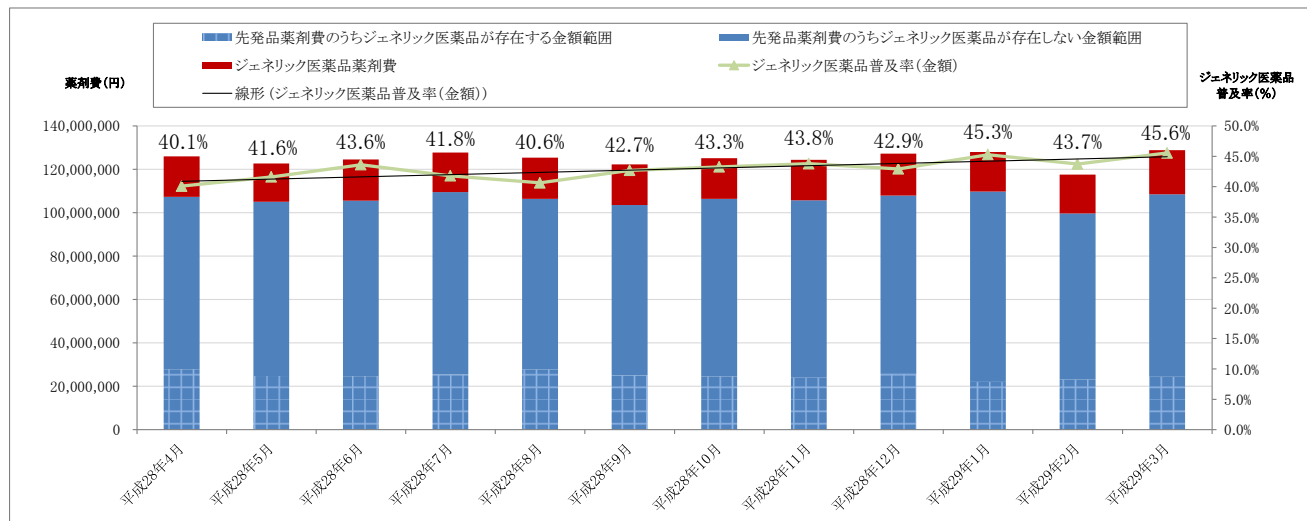
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(5) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示します。現在、ジェネリック医薬品普及率は42.9%(金額ベース)、69.6%(数量ベース)です。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

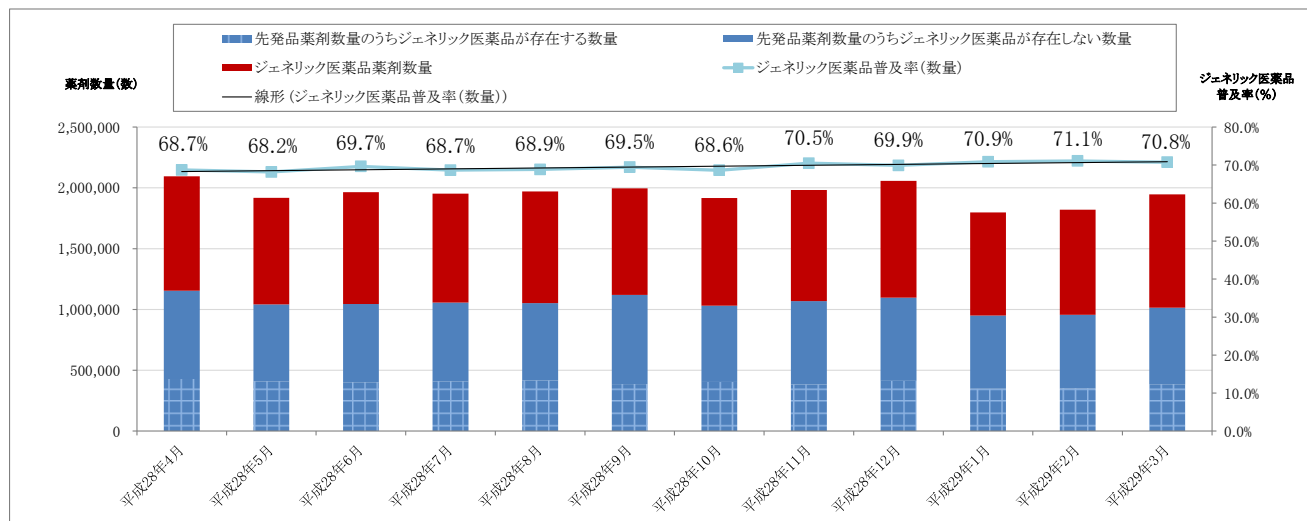


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



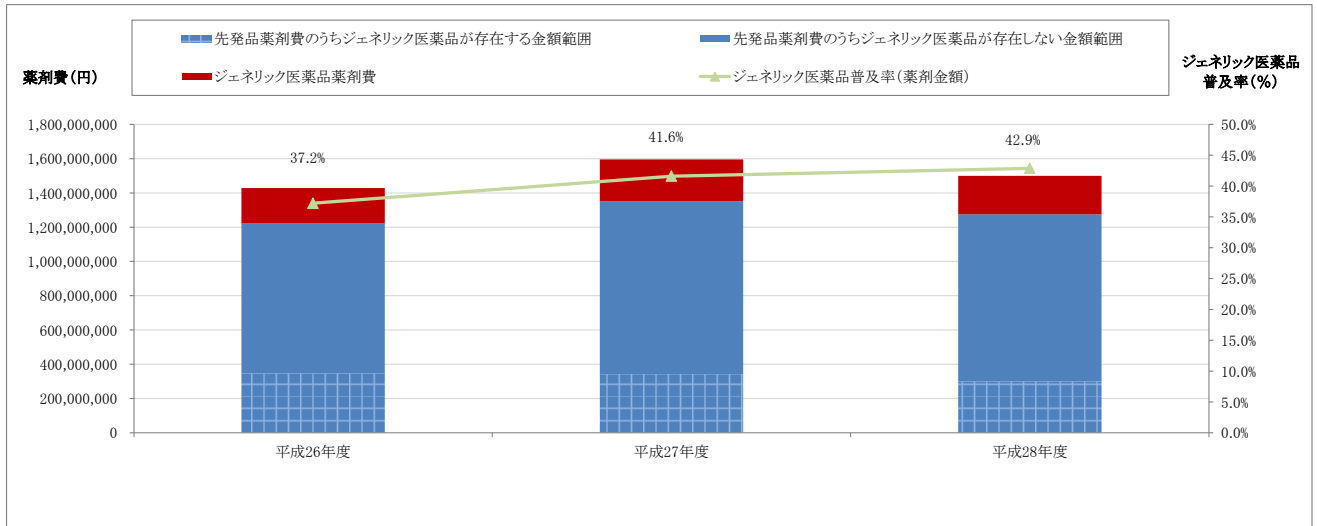
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)42.9%は、平成26年度37.2%より5.7ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)69.6%は、平成26年度61.5%より8.1ポイント上昇しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

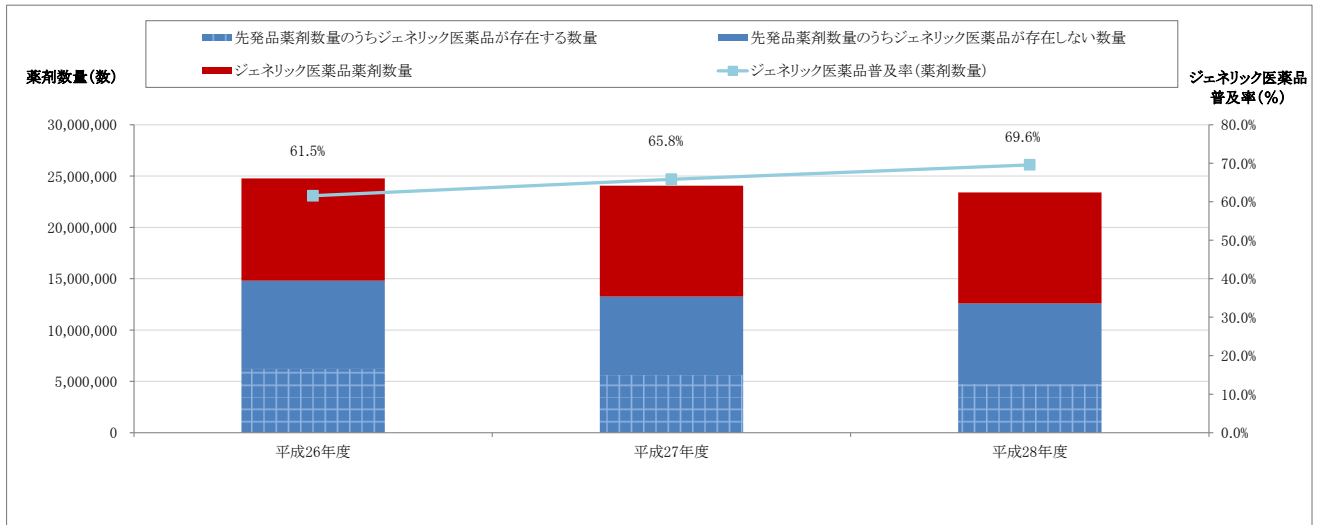


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

5. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

第1期データヘルス計画（平成28年度～平成29年度）に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示します。

事業名	概要	実施内容
特定健診・特定保健指導事業	特定健診未受診者対策を実施し受診率の向上をはかります。また特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように保健師や管理栄養士による支援を行います。具体的には、面接や電話、また必要に応じて訪問を行います。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととします。特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者対策の実施（加療中の方への対策） ・指導対象者に対して適切な保健指導を行います。 ・健診データより検査値の推移を確認します。
健診異常値放置者受診勧奨事業	特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、受診勧奨を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者に医療機関受診勧奨を行います。 ・勧奨後に医療機関受診があるか確認します。受診がない対象者にはフォローを行います。
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	レセプトから、かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定し、受診勧奨を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨を行います。 ・勧奨後に医療機関受診があるか確認します。受診がない対象者にはフォローを行います。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品に切り替えることにより医療費が軽減する可能性のある被保険者に、通知書を送付しジェネリック医薬品に切り替えることを促します。	<ul style="list-style-type: none"> ・差額通知発送（年2回） 4月、10月調剤分を和歌山県国民健康保険団体連合会に委託して差額通知を作成します。それを各々7月、1月に被保険者に送付します。
ウォーキングデイ事業	市広報に実施要領を掲載し参加者を募り、事前に設定したコースでウォーキングに親しんでもらいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施（7月、8月を除く） ①ウォーキングボランティアと共にコースを下見しコースを選定します。 ②市広報に実施要領を掲載し参加を求めます。 ③現地集合にてウォーキングを実施します。
脳ドック助成事業	市広報に実施要領を掲載し受診者を募り、脳ドックを受ける受診料の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・脳ドック健診費用助成 ①橋本市民病院に委託して実施します。 ②5月広報に実施要領を掲載し申込みを受けます。 ③受診者と橋本市民病院とのスケジュール調整を行います。

目標値(平成29年度末)	達成状況	考察と課題
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率 10%向上 ・指導対象者の指導実施率 5%向上 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的支援及び動機付け支援対象者数 10%減少 	<p>【アウトプット】</p> <p><健診受診率></p> <p>平成27年度 34.9% 平成28年度 36.1% (1.2%向上)</p> <p><保健指導実施率></p> <p>平成27年度 32.6% 平成28年度 49.9% (17.3%向上)</p> <p>【アウトカム】</p> <p><支援対象者数割合></p> <p>平成27年度 12.0% 平成28年度 11.8% (0.2%減少) (いずれもKDBデータより)</p>	<p>健診受診率は微増。保健指導実施率は17.3%も向上させることが出来た。</p> <p>支援対象者割合について、0.2%減少したが、目標の10%には届かなかった。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の医療機関受診率 10% (受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合) <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者数 10%減少 	<p>【アウトプット】</p> <p>平成28年度事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の医療機関受診率 5.7% (22人/388人) <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者数 1.9%減少 平成28年度 419人 平成29年度 411人 	<p>医療機関受診をしてもらえた対象者もいたが、効果としては少し物足りないものとなった。今後の事業については対象者の選定や実施内容を検討する必要がある。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の医療機関受診率 10% (受診勧奨を実施することにより、勧奨後、医療機関へ受診した人数の割合) <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者数 10%減少 	<p>【アウトプット】</p> <p>平成28年度事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の医療機関受診率 1.5% (1人/67人) <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者数 0.1%増加 平成28年度 69人 平成29年度 76人 	<p>医療機関受診をしてもらえた対象者もいたが、事業効果が低いため第2期データヘルス計画では事業実施計画よりはらず。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者への通知率 100% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース) 5%向上 	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者への通知率 平成28年度 100% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 3.8ポイント向上 平成27年度 65.8% 平成28年度 69.6% 	<p>平成28年度実績では普及率5%向上の目標には届かなかったもののジェネリック普及率を向上させることができていること、引き続き事業を継続する。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング参加者の増加 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣を通して、参加者の健康意識の向上 	<p>【アウトプット】</p> <p>平均参加人数</p> <p>平成27年度 81人 平成28年度 88人</p> <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣を通して、参加者の健康意識の向上を図れた 	<p>少しずつではあるが、参加人数も増えてきているので来年度以降も継続する。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳ドック受診者数 180人 ・受診者への助成実施 100% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾病の早期発見、早期治療 ・要指導、要医療対象者の減少 	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳ドック受診者数 平成28年度 180人 ・受診者への助成実施 平成28年度100% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾病の早期発見、早期治療を図れた ・要指導、要医療対象者の減少を図れた 	<p>目標通りの受診者数となった。来年度以降も継続する。</p>

6. 分析結果に基づく健康課題の把握

現状把握	
医療費データ	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成28年度医療費総計は平成26年度と比較すると、被保険者数が減少しているにもかかわらず増加し、被保険者の有病率も平成28年度は52.0%と、平成26年度の50.4%より高くなっている。 ● 高額レセプト(5万点以上)割合は26年度より増加し、疾病名では、くも膜下出血・腎不全・虚血性心疾患・悪性新生物などが医療費や患者数で上位に上がる。 ● 疾病別医療費(大分類)では新生物が最も多く、次いで循環器系の疾患2位、内分泌栄養及び代謝疾患3位となっており、上位3疾病項目で全体医療費の42.0%を占める。平成26年度より経年比較でも順位の変動はみられない。 ● 中分類による疾病別統計より、その他の悪性新生物(前立腺癌など)の他、患者数の多い高血圧性疾患・その他の心疾患(心不全など)・糖尿病・脂質異常症の医療費が高かった。腎不全は患者数は少ないが増加傾向にあり、一人当たりの医療費が平成27年度より全中分類中1位となっている。 ● 透析行為が行われている腎不全患者54人中34人(63%)が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることがわかった。 ● ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)平成28年度69.6%と平成26年度の61.5%と比較し上昇している。
健診データ	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健康診査受診率は平成28年度36.0%で、平成20年度24.9%と比較し年々上昇傾向にある。メタボリックシンドローム該当者割合は平成28年度で17.4%となっており、平成20年度17.4%と同じである。 ● 平成28年度の積極的支援対象者割合は2.2%、動機付け支援対象者割合は9.6%となり、平成20年度(積極的:3.2%、動機付け:11.8%)と比較して減少している。保健指導対象者の平成28年度の減少率は平成20年度と比較して21.7%となっている。 ● 平成28年度の有所見者割合について収縮期血圧が45.7%、LDLコレステロールが54.0%、HbA1cが49.4%と有所見者割合が高い。 ● 質問別回答より、30分以上の運動習慣や1時間以上の身体活動無しと答えた者が50%以上となっており、29.6%が生活習慣改善の意志がないと答えた。
介護データ	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護認定率は27.4%で、平成26年度26.8%、平成27年度27.2%と年々上昇傾向にあり、県・同規模・国と比較しても高い。 ● 認定者は平均3.0疾病を有しており、なかでも高血圧症53.1%、心臓病60.5%、筋骨格疾患57.7%は認定者の半数以上が有していることがわかる。
その他のデータ	<ul style="list-style-type: none"> ● 被保険者数は年々減少しており、男女年齢階層別割合では男女ともに60歳以上で県・同規模・国と比較すると高い割合を示す。 ● 死因状況について、平成28年は悪性新生物が29.4%で1位となっている。平成21年度以降死因1位は悪性新生物となっている。

健康課題

医療費は増加しており、被保険者の有病率も高くなっている。

生活習慣病である循環器系疾患の高血圧性疾患、内分泌栄養及び代謝疾患の糖尿病や脂質異常症は患者数が多いことより医療費が高くなっている。

生活習慣病が重症化し進行して、大血管障害(虚血性心疾患・狭心症・脳梗塞など)や、微小血管障害(腎不全など)など発病すると一人当たりの医療費が高額となることから、早期発見や早期治療に結びつけることが重要である。

腎不全の医療費、患者数ともに上昇傾向にある。

透析行為が行われている腎不全患者54人中34人(63%)が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることより、早期に保健指導を行い重症化を回避する必要がある。

特定健康診査の受診率は上昇傾向にあり、積極的支援対象者割合、動機付け支援対象者割合はともに減少傾向である。

健診受診を習慣づけるため勧奨方法を工夫するなど、継続的に受診率を向上させる必要がある。

保健指導対象者割合は減少傾向にあるものの、収縮期血圧・LDLコレステロール・HbA1cの有所見者割合が50%前後と依然高い。

運動習慣や身体活動が少ない者が多く存在するが、生活習慣改善の意志がないと答えた者は29.6%となっており、生活習慣改善に取り組めるよう情報提供や栄養指導、運動指導の環境を提供し有所見者の減少に努める必要がある。

平成28年度認定率27.4%は平成26.8%より0.6ポイント上昇しており、県25.3%、同規模20.2%、国21.2%と比較して高くなっている。

また、有病率1位は心臓病、3位は高血圧症となり循環器疾患の割合が高い。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)を見ても、高血圧性疾患は平成26年度1位、平成27年度2位、平成28年度5位と医療費の高い状況が続いているため、将来を見据え取り組んでいく必要がある。

死因では悪性新生物が最も多く、前立腺がんや大腸がんの患者数が多い状況である。

死因第4位が脳血管疾患となっていることに加え、くも膜下出血が高額レセプトの上位に入っていることより、脳ドックの実施により早期発見や早期治療に結びつける必要がある。

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示します。

目的	事業名	事業目的	事業概要	ストラクチャー 実施体制
生活習慣病の早期発見	特定健康診査受診率向上事業	特定健康診査の受診率向上	特定健診の個別勧奨、未受診者対策、健診受診者へのフォローアップとしての特定健診継続受診対策を行います。	橋本市
	特定保健指導事業	特定保健指導対象者の減少	特定保健指導対象者に、保健指導の利用を促すとともに、未利用者に対しては電話、訪問などの勧奨を行います。	橋本市
重症生活習慣病の防止	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿う形で重症化予防指導事業を行います。	橋本市
健康増進	ウォーキングデイ事業	ウォーキングを行う機会を提供し、健康の保持増進を図る	市広報に実施要領を掲載し参加者を募り、事前に設定したコースでウォーキングに親しんでもらいます。	橋本市
早期脳血管発見障害の	脳ドック助成事業	脳ドック受診による早期発見・早期治療	市広報に実施要領を掲載し受診者を募り、脳ドックを受ける受診料の一部を助成します。	橋本市 橋本市民病院
医療費適正化	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	ジェネリック医薬品に切り替えることにより医療費が軽減する可能性のある被保険者に、通知書を送付しジェネリック医薬品に切り替えることを促します。	橋本市 国保連合会

目標	被保険者が健康維持の重要性について理解し、自ら健康増進に努めるとともに、健康状態の把握や生活習慣改善に取り組む。
----	--

プロセス	目標値				評価方法
	アウトプット		アウトカム		
	2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・健診勧奨（全員） ①勧奨案内文と受診券を個別に通知します。 ②未受診者に対し効果的な個別勧奨通知を行うとともに、電話などでの勧奨を併せて実施します。 	対象者への通知率 100%	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 48%	特定健康診査受診率 60%	特定健診データより確認
<ul style="list-style-type: none"> ・利用勧奨（対象者全員） ①対象者全員に利用券を交付し、保健指導の利用を促します。 ②未利用者に対して電話、訪問などで勧奨を行います。 ③個別の指導に加え、集団でも取り組む機会を設け、適切な保健指導を実施します。 	対象者の指導実施率 50% 以上	対象者の指導実施率 60% 以上	特定保健指導対象者の減少率22% （平成20年度比）	特定保健指導対象者の減少率25% （平成20年度比）	特定健診データより確認
<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に向けた関係機関との調整および準備を行います。（2018年度（平成30年度）） ・具体的な事業実施方法については、2018年度（平成30年度）に設定予定です。 	具体的な事業実施方法および目標等については、和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿う形で設定します。				
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施（7月、8月を除く） ①ウォーキングボランティアと共にコースを下見しコースを選定します。 ②市広報に実施要領を掲載し参加を求めます。 ③現地集合にてウォーキングを実施します。 	ウォーキング参加者数の維持・増加	ウォーキング参加者数の維持・増加	運動習慣を通じて、参加者の健康意識の向上	運動習慣を通じて、参加者の健康意識の向上	参加人数の確認
<ul style="list-style-type: none"> ・脳ドック健診費用助成 ①橋本市民病院に委託して実施します。 ②5月広報に実施要領を掲載し申込みを受けます。 ③受診者と橋本市民病院とのスケジュール調整を行います。 	脳ドック受診者数 180人 受診者への助成実績 100%	脳ドック受診者数 180人 受診者への助成実績 100%	疾病の早期発見、早期治療要指導、要医療対象者の減少	疾病の早期発見、早期治療要指導、要医療対象者の減少	受診者数の確認
<ul style="list-style-type: none"> ・差額通知発送（年2回） 4月、10月調剤分を和歌山県国民健康保険団体連合会に委託して差額通知を作成します。それを各々7月、1月に被保険者に送付します。 	対象者への通知率 100%	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率（数量ベース） 75%	ジェネリック医薬品普及率（数量ベース） 80%	国保連合会にて確認

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画における実施事業及び評価方法は以下の通りです。

(1) 特定健康診査受診率向上事業

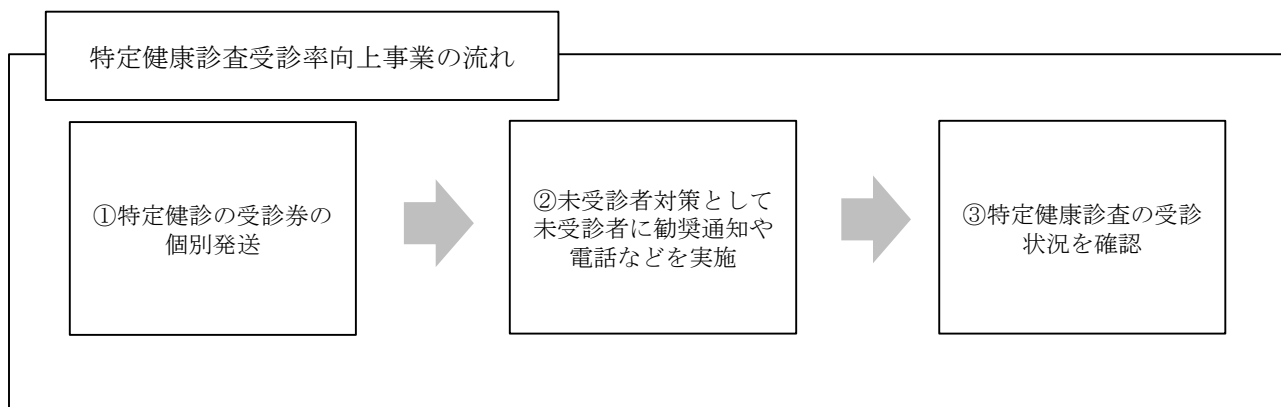
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健診の個別勧奨、未受診者対策、健診受診者へのフォローアップとしての特定健診継続受診対策を行います。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット		アウトカム		
		目標値		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	特定健診データより確認
対象者への通知率 100%	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 48%	特定健康診査受診率 60%	

【実施スケジュール】2019年度（平成31年度）以降も下記スケジュールを基本とします。

年間スケジュール															
2018年(平成30年)												2019年(平成31年)			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
			← 対象者抽出 →										← 対象者抽出 →		
			← 受診勧奨 →										← 受診勧奨 →		

(2) 特定保健指導事業

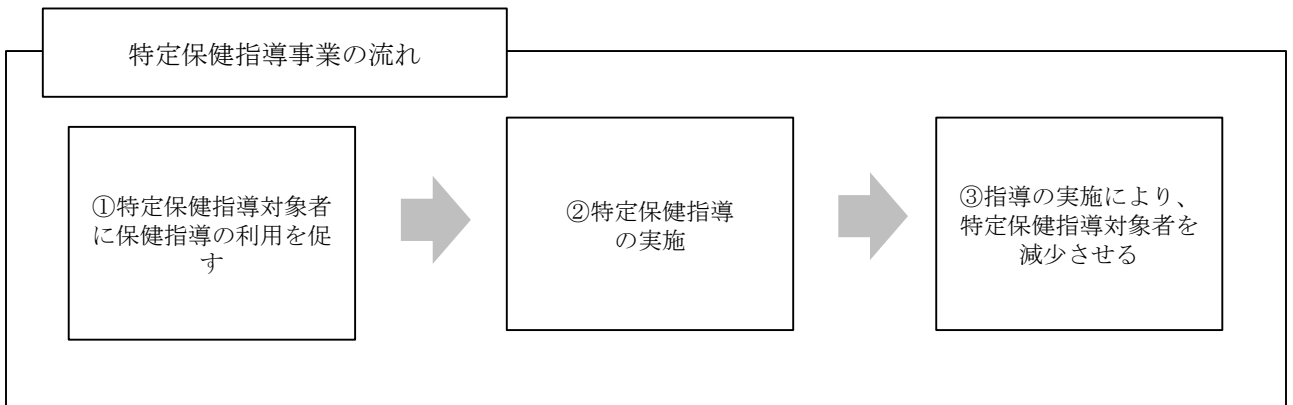
【事業目的】

特定保健指導対象者の減少

【事業概要】

特定保健指導対象者に、保健指導の利用を促すとともに、未利用者に対しては個別通知や電話、訪問などで勧奨を行います。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット		アウトカム		
		目標値		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	特定健診データより確認
対象者の指導実施率50%以上	対象者の指導実施率60%以上	特定保健指導対象者の減少率22% (平成20年度比)	特定保健指導対象者の減少率25% (平成20年度比)	

【実施スケジュール】 2019年度（平成31年度）以降も下記スケジュールを基本とします。

年間スケジュール														
2018年(平成30年)												2019年(平成31年)		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

指導実施: 2018年(平成30年) 4月～6月, 2019年(平成31年) 10月～12月

対象者特定: 2019年(平成31年) 10月～12月

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

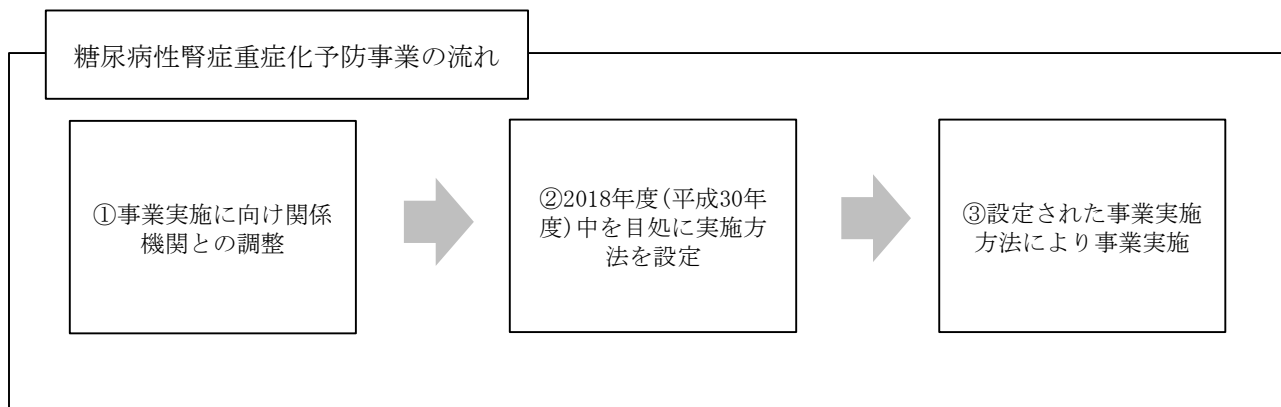
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【事業概要】

和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿う形で重症化予防指導事業を行います。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット		アウトカム		
		目標値		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
具体的な事業実施方法および目標等については、和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿う形で設定します。				

【実施スケジュール】 2019年度（平成31年度）以降のスケジュールは調整後に設定します。

年間スケジュール														
2018年(平成30年)												2019年(平成31年)		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

(4) ウォーキングデイ事業

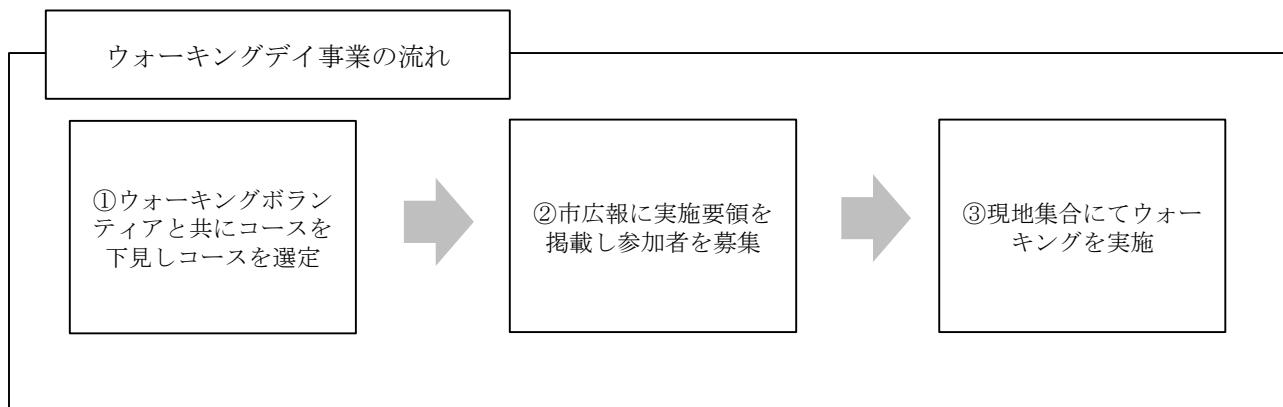
【事業目的】

ウォーキングを行う機会を提供し、健康の保持増進を図ります。

【事業概要】

市広報に実施要領を掲載し参加者を募り、事前に設定したコースでウォーキングに親しんでもらいます。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット		アウトカム		
		目標値		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
ウォーキング参加者数の維持・増加	ウォーキング参加者数の維持・増加	運動習慣を通じて、参加者の健康意識の向上	運動習慣を通じて、参加者の健康意識の向上	参加人数の確認

【実施スケジュール】 2019年度（平成31年度）以降も下記スケジュールを基本とします。

年間スケジュール															
2018年(平成30年)												2019年(平成31年)			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
			コース選定							コース選定					
			事業実施							事業実施					

(5)脳ドック助成事業

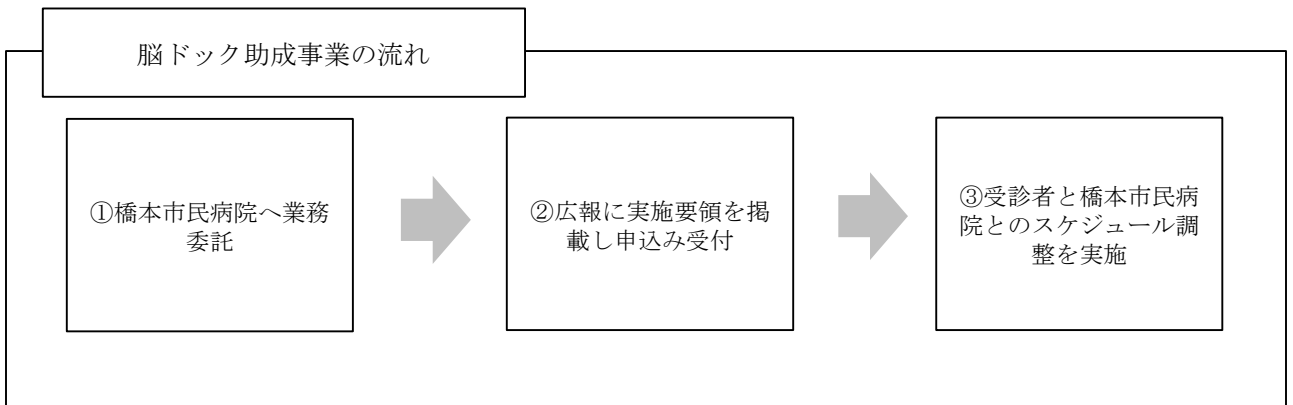
【事業目的】

脳ドック受診による早期発見・早期治療

【事業概要】

市広報に実施要領を掲載し受診者を募り、脳ドックを受ける受診料の一部を助成します。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット		アウトカム		
		目標値		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
脳ドック受診者数180人 受診者への助成実績 100%	脳ドック受診者数180人 受診者への助成実績 100%	疾病の早期発見、早期治療 要指導、要医療対象者の減少	疾病の早期発見、早期治療 要指導、要医療対象者の減少	受診者数の確認

【実施スケジュール】 2019年度（平成31年度）以降も下記スケジュールを基本とします。

年間スケジュール														
2018年(平成30年)												2019年(平成31年)		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			委託契約、準備											
			←→											
										事業実施				

(6) ジェネリック医薬品差額通知事業

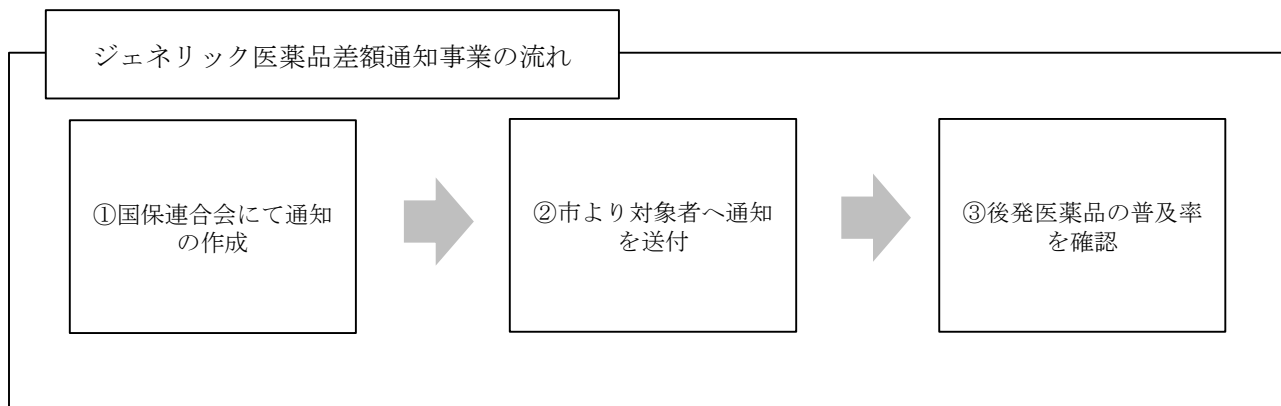
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】

ジェネリック医薬品に切り替えることにより医療費が軽減する可能性のある被保険者に、通知書を送付しジェネリック医薬品に切り替えることを促します。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット		アウトカム		
		目標値		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
対象者への通知率 100%	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率（数量ベース） 75%	ジェネリック医薬品普及率（数量ベース） 80%	国保連合会にて確認

【実施スケジュール】 2019年度（平成31年度）以降も下記スケジュールを基本とします。

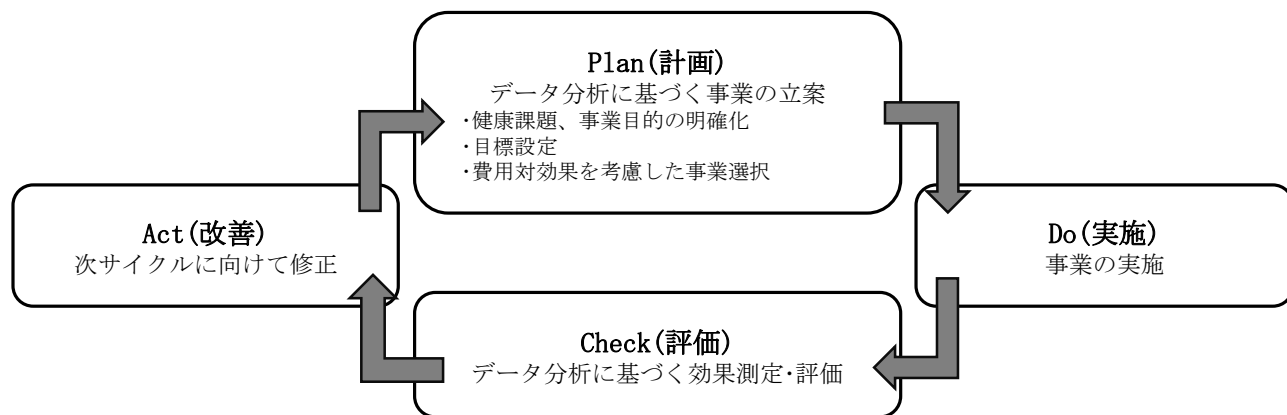
年間スケジュール														
2018年（平成30年）												2019年（平成31年）		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
通知スケジュール調整							通知						通知	

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととします。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととします。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとします。



(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表します。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

3. 個人情報の取り扱い

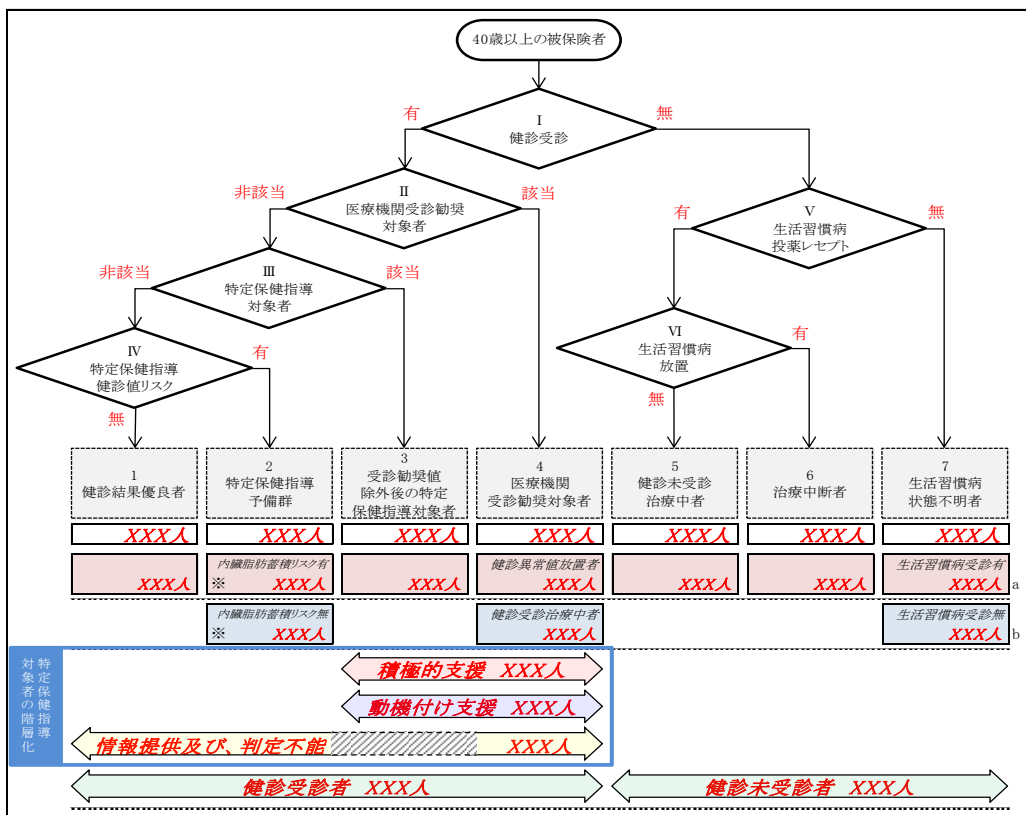
個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取られるよう委託契約書に定めるものとします。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組みます。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 ……健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 ……健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 ……厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク……厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めません。
- V 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 ……生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 ……過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑えます。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させます。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示しています。検査値が高いと糖尿病の疑いがあります。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のことです。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧といいます。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行います。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になります。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われます。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行います。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のことです。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とします。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のことです。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施されます。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とします。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されています。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用されます。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさったり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」といいます。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいいます。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

橋本市国民健康保険第2期データヘルス計画

発行日 平成30年3月

発行 橋本市

編集 橋本市健康福祉部保険年金課
健康課

〒648-8585

和歌山県橋本市東家一丁目1番1号

TEL (0736) 33-1111 (代表)
